

# NextScreen over VPN

**VPN Configuration Manual**  
**VPN 設定の説明書**

---

2010 年 9 月 第 1 版



# 目次

はじめに .....	5
設定の流れ .....	6
ネットワーク構成 .....	7
ルーターによる PPTP サーバーについて .....	8
<b>第 1 章 PPTP サーバーの設定 .....</b>	<b>9</b>
IP アドレスの設定 .....	10
Windows XP の場合 .....	10
Windows Vista / 7 の場合 .....	12
PPTP サーバーの設定 .....	14
Windows XP の場合 .....	14
Windows Vista / 7 の場合 .....	17
<b>第 2 章 ルーターの設定 .....</b>	<b>21</b>
ルーターの設定について .....	22
VPN パススルーの設定 .....	23
Web Caster V110 の場合 .....	23
ADSL モデム - NV の場合 .....	26
<b>第 3 章 ダイナミック DNS の設定 .....</b>	<b>29</b>
ダイナミック DNS について .....	30
No-IP へのユーザー登録 .....	31
自動更新ソフトウェア .....	36
自動更新ソフトウェアのダウンロード .....	36
自動更新ソフトウェアのインストール .....	38
自動更新ソフトウェアの設定 .....	39
<b>第 4 章 PPTP クライアントの設定 .....</b>	<b>41</b>
PPTP クライアントの設定 .....	42
Windows XP の場合 .....	42
Windows Vista / 7 の場合 .....	45
<b>第 5 章 NextScreen エディタの設定 .....</b>	<b>51</b>
NextScreen エディタの設定 .....	52





# はじめに

NextScreen のアップロード機能は、LAN（Local Area Network）上で使用することを前提として作成されていますので、サーバー等を設置することなく、手軽に使用することができます。その反面、ビューワを遠隔地に設置する場合には何らかの工夫が必要になってきます。

遠隔地のビューワへアップロードする方法としては次のようなものが考えられます。

- ① VPN の構築
- ② 専用回線接続
- ③ ダイアルアップ接続

インターネット常時接続環境が一般的になっている現在の状況では、①の VPN の構築が最も選択し易い方法と言えるでしょう。この説明書では、VPN の中でも手軽に構築できる PPTP を使用した方法について説明します。

※ルーター等による VPN が構築済みの環境では、ここで説明する方法で設定する必要はありません。通常の LAN 接続と同様に行うことができます。（ネットワークの設定によっては、コンピュータ名で接続できない場合があります。その場合は、IP アドレスを指定してください。）

## 【用語】

- ◇ **VPN**：Virtual Private Network のこと。公衆回線（インターネットなど）を利用して、拠点間を接続し、専用回線のように利用するサービス。専用回線に比べコストが安いことが特徴。通常、通信は暗号化される。
- ◇ **PPTP**：Point-to-Point Tunneling Protocol のこと。VPN の一種で、通常インターネットを介して 2 つの機器間の暗号化通信を行う。Windows（一部を除く）に標準で搭載されている機能。
- ◇ **専用回線接続**：通信事業者が提供する専用回線を使用して接続を行うこと。通常、企業間を結ぶ方法として利用される。セキュリティは高いが、コストも高いことが特徴。
- ◇ **ダイアルアップ接続**：電話（PHS などを含む）回線を使用して、利用するときにだけ接続する方法。通信速度が遅いためデータ量が多い場合には不向き。（条件によっては NextScreen の接続方法として考慮する必要があるかもしれません。）

## 【前提】

この説明書では、NextScreen のインストールおよび設定が完了しているものとして説明いたします。NextScreen のインストールおよび設定については、「NextScreen 取り扱い説明書（User's Manual）」を参照してください。

また、インターネットへの接続が通常に行えていることを前提に説明いたします。インターネットへの接続が完了していない場合は、先にインターネットへの接続ができるように設定してください。

## 【注意】

この説明書で説明する VPN を利用するためには、ルーターに「VPN パススルー（サーバー）」機能が必要になります。また、VPN を利用するためには、ビューワ PC の IP アドレスを固定する必要があります。ビューワ PC を設置するネットワーク環境が構築済である場合には、ネットワーク管理者に確認してください。

エディタ PC のネットワーク環境についても、ルーターに「VPN パススルー（クライアント）」機能が必要になります。ネットワーク環境によっては、外部との VPN 接続を認めていない場合があります。必ずネットワーク管理者に確認してください。

## 【重要】

この説明書に記載されている方法での設定および運用については、福猫株式会社として推奨するものではありません。また、動作についての一切の保証もいたしません。ご了承ください。

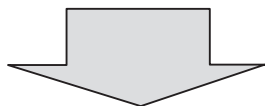
# 設定の流れ

VPN を利用して NextScreen のアップロードを行なうための大まかな流れを示します。

## PPTP サーバーの設定（ビューワ PC）

PPTP を使用しての VPN が行えるようにビューワ PC に PPTP サーバーを設定します。

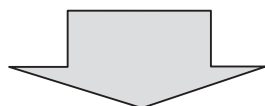
ビューワ



## ルーターの設定（ビューワ PC 側のルーター）

インターネットを介してビューワ PC に接続できるように、ビューワ PC 側に設置されているルーターを設定します。ルーターには VPN パススルー（サーバー）機能が必要になります。

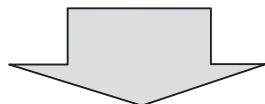
ビューワ



## ダイナミック DNS への登録（固定グローバル IP アドレスでは不要）

ビューワ PC のインターネット接続環境が固定グローバル IP アドレスでない場合は、ダイナミック DNS への登録や設定を行います。

ビューワ

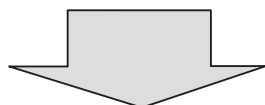


## PPTP クライアントの設定（エディタ PC）

ビューワ PC へ接続できるように、エディタ PC に PPTP クライアントを設定します。

エディタ

ビューワ



## NextScreen エディタの設定

VPN ではコンピュータ名を使用しての接続が行えないことがあります。コンピュータ名の代わりに IP アドレスを設定します。

エディタ



## 運用開始

接続が確認できれば、アップロードを行うことができます。

エディタ

ビューワ

# ネットワーク構成

## ネットワークの構成

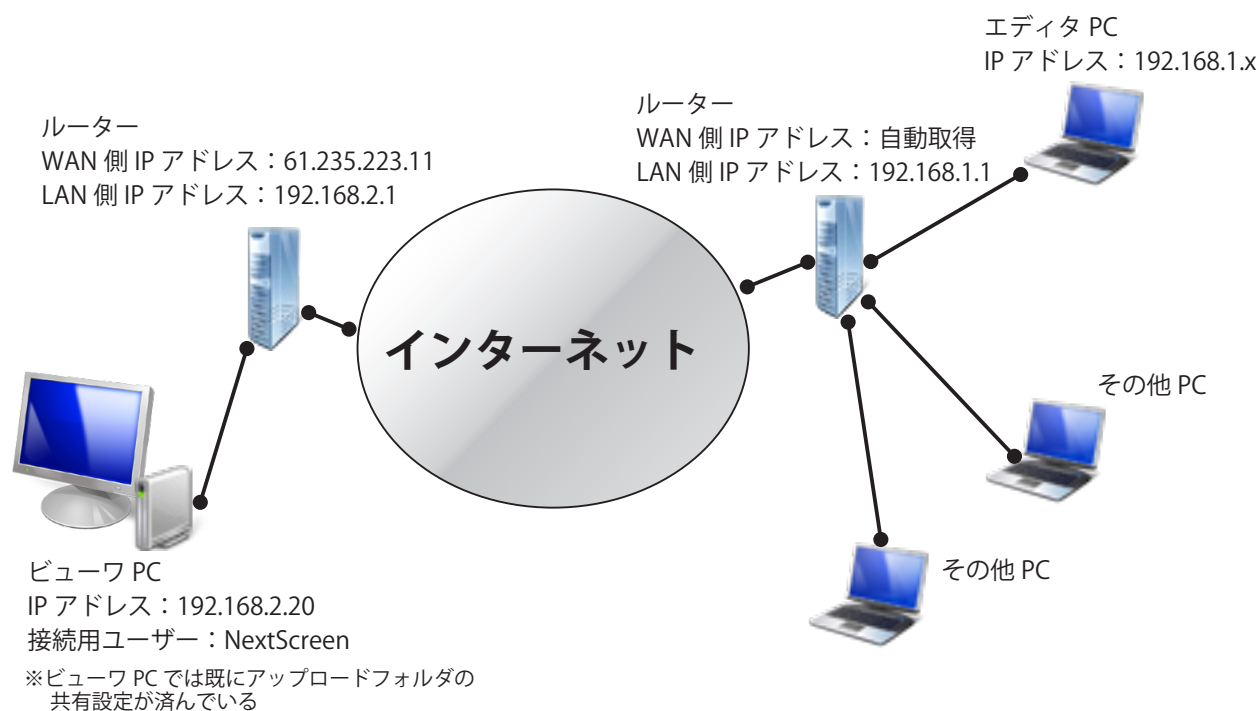
NextScreen のアップロード動作をインターネットを介して利用するためのネットワーク構成を示します。ここでの構成はこの説明書で説明するための前提となるものです。あくまでも一例になりますので、他の構成であっても利用可能な場合があります。

### 【エディタ PC 設置のネットワーク環境】

- 複数の PC があり、それぞれの PC は DHCP によるプライベート IP アドレス設定
- インターネットは、NTT フレッツ ADSL（または光）接続（IP アドレス自動割当）
- ルーターは NTT からのレンタル
- LAN 側ネットワークアドレス：192.168.1.0/24
- ルーター LAN 側のアドレス：192.168.1.1

### 【ビューワ PC 設置のネットワーク環境】

- 1 台のビューワ PC、ルーターに接続され、プライベート IP アドレスは固定
- インターネットは、NTT フレッツ ADSL（または光）接続（IP アドレス自動割当または固定 IP アドレス）
- ルータは NTT からのレンタル
- ルーターの WAN 側（インターネット側）アドレス：61.235.223.11（自動割当の場合ダイナミック DNS を使用のこと）
- LAN 側ネットワークアドレス：192.168.2.0/24
- ルーター LAN 側のアドレス：192.168.2.1
- ビューワ PC のアドレス：192.168.2.20
- 接続用のユーザー：NextScreen



VPN によるネットワークを構築する場合には、LAN 側プライベート IP アドレスが重ならないようにすることが重要です。エディタ PC を設置しているネットワークのアドレスが 192.168.1.x であれば、ビューワ PC を設置するネットワークは 192.168.2.x のように別のアドレス体系（サブネット）にします。ビューワ PC を複数の拠点に設置するのであれば、192.168.3.x, 192.168.4.x のようにそれぞれ違うアドレス体系にします。

ネットワークの構成は各組織によって異なりますので、必ずネットワーク管理者に確認をとってください。

# ルーターによる PPTP サーバーについて

## ルーターによる PPTP サーバーについて

ルーターによっては、PPTP サーバーを有する機種もあります。ルーターによる PPTP サーバーによる VPN を利用する場合は、この説明書の「第 1 章」、「第 2 章」の設定は不要です。また、ルーターに PPTP サーバー機能を有する場合は、そのルーターを供給する企業が独自に「ダイナミック DNS」を提供していることがあります。その機能を使用する場合は「第 3 章」の設定は不要になります。

ルーターによる PPTP サーバー機能を利用することによって設定が簡単になります。新規にルーター購入を検討している場合は、その機能を有するルーターを対象として含めると良いかもしれません。

例えば、次のルーターは、PPTP サーバーおよびダイナミック DNS 機能を有しています。

【BUFFALO(TM) 有線ブロードバンドルータ BHR-4RV】

- 製品 URL : <http://buffalo.jp/products/catalog/item/b/bhr-4rv/>
- 紹介記事 : <http://plusd.itmedia.co.jp/lifestyle/articles/0408/31/news024.html>

その他、ルーター製造販売会社が提供しているダイナミック DNS のホームページから対応ルーターを見つけることができます。

- |           |   |
|-----------|---|
| • PLANEX  | <a href="http://cybergate.planex.co.jp/ddns/">http://cybergate.planex.co.jp/ddns/</a>   |
| • IO-DATA | <a href="http://www.iobb.net/">http://www.iobb.net/</a>   |
| • Logitec | <a href="http://www.logitec.co.jp/products/ddns.html">http://www.logitec.co.jp/products/ddns.html</a>   |
| • corega  | <a href="http://corega.jp/product/navi/corede-net/">http://corega.jp/product/navi/corede-net/</a>   |
| • BUFFALO | <a href="http://buffalo.jp/products/catalog/network/remotearchive/bddns-info.html">http://buffalo.jp/products/catalog/network/remotearchive/bddns-info.html</a> |

### 【重要】

ここで紹介しているルーターによる運用については、福猫株式会社として推奨するものではありません。また、動作についての一切の保証もいたしません。ご了承ください。

## 第 1 章 PPTP サーバーの設定

## IP アドレスの設定

PPTP サーバーはビューワ PC に設定します。インターネットヘルパーを介して接続されている場合、PC には固定の IP アドレスを設定する必要があります。通常 PC は、デフォルトの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」になっています。これを「次の IP アドレスを使う」設定に変更します。

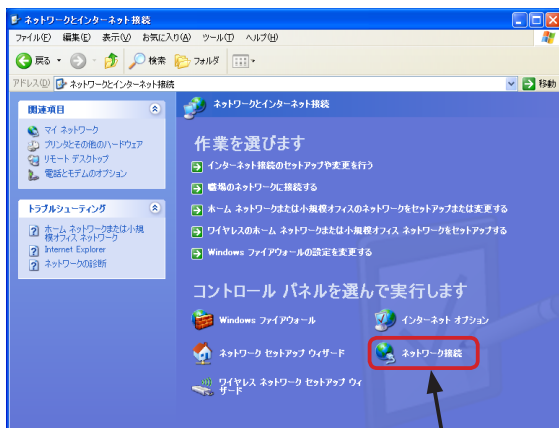
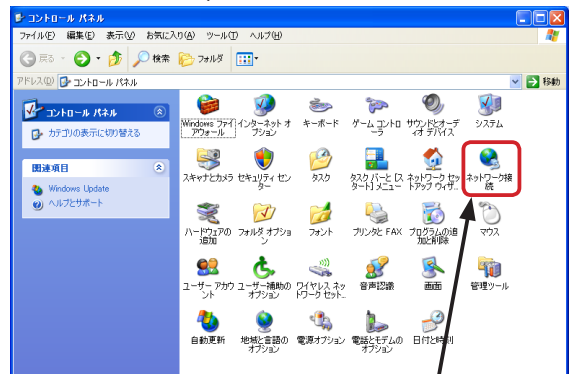
### Windows XP の場合

- (1) コントロールパネルを開きます。次に、「ネットワークとインターネット接続」-「ネットワーク接続」を選びます。(クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」を選んでください。)

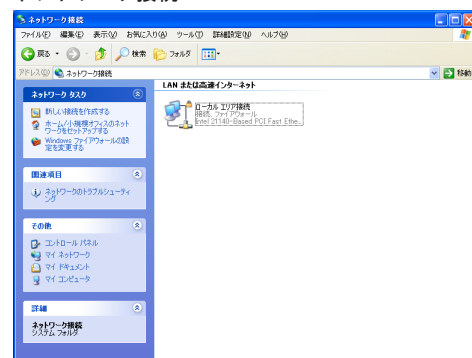
コントロールパネル (カテゴリ表示)



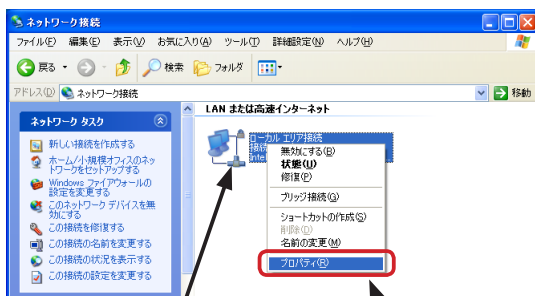
コントロールパネル (クラシック表示)



ネットワーク接続



- (2) 「ネットワーク接続」画面で、「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして表示されるコンテキストメニューから「プロパティ」を選びます。



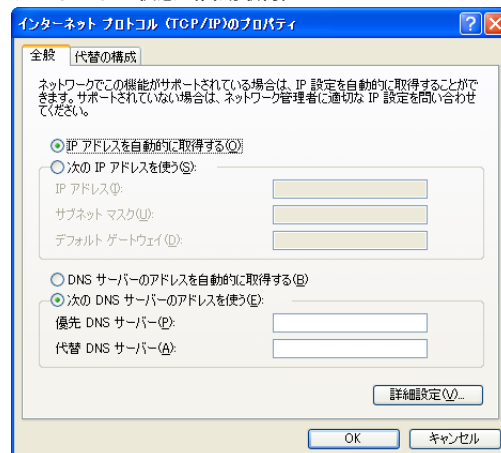
- (3) 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「この接続は次の項目を使用します。」の一覧から、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



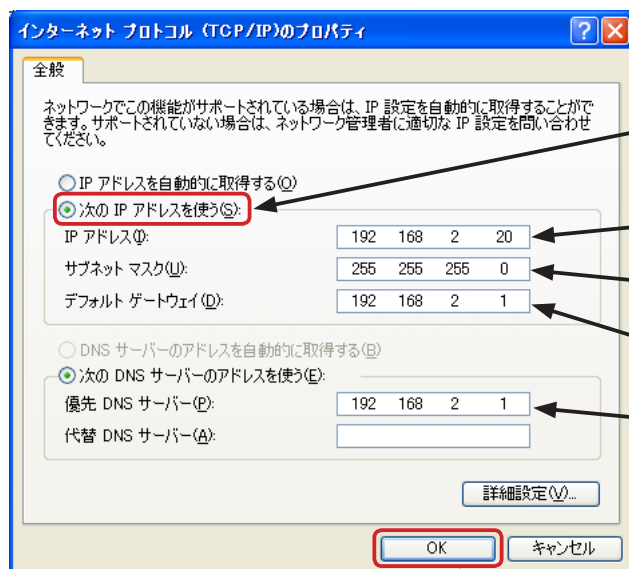
選択

クリック

デフォルトの状態 (自動取得)



- (4) 「次の IP アドレスを使う」ラジオボタンを選択し、それぞれの項目を入力します。入力が終わったら、OK ボタンをクリックして画面を閉じます。「ローカルエリア接続のプロパティ」画面も OK ボタンをクリックして閉じてください。



クリック

・ IP アドレスは、この PC のアドレスになります。  
この説明書の例では、192.168.2.20

・ サブネットマスクは、通常 255.255.255.0 で大丈夫です。詳しくはネットワーク管理者へ確認してください。

・ デフォルトゲートウェイは、ルーターのアドレスです。  
この説明書の例では、192.168.2.1

・ DNS サーバーは、ルーターのアドレスで問題ありません。接続が上手く行かない場合は、プロバイダーの接続情報に記載されているアドレスを入力してください。

入力が完了したらクリック

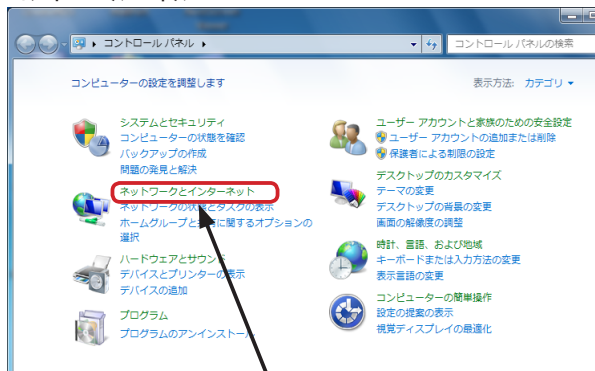


## Windows Vista / 7 の場合

IP アドレスの設定方法を説明します。Windows 7 の画面を中心に説明しますが、Windows Vista においてもほぼ同様に行うことができます。

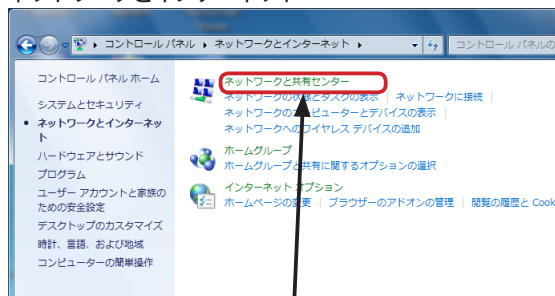
- (1) コントロールパネルから「ネットワークとインターネット」を選びます。次に表示される画面で、「ネットワークと共有センター」を選びます。

コントロールパネル



クリック

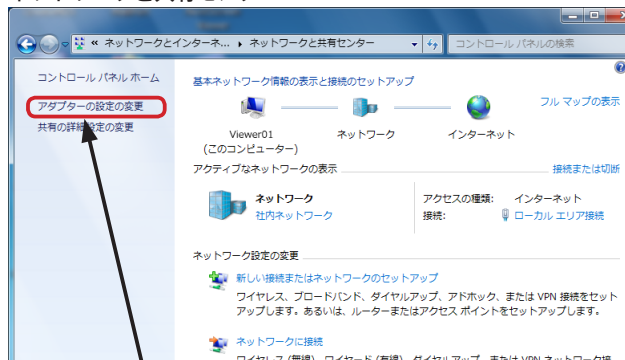
ネットワークとインターネット



クリック

- (2) 「ネットワークと共有センター」画面で、「アダプターの設定の変更」を選びます。(ネットワーク接続画面が表示されます。)

ネットワークと共有センター



クリック

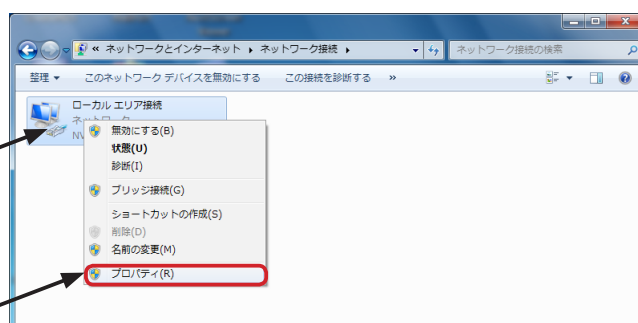
ネットワーク接続



- (3) 「ローカルエリア接続」を右クリックして、表示されるコンテキストメニューから「プロパティ」を選びます。

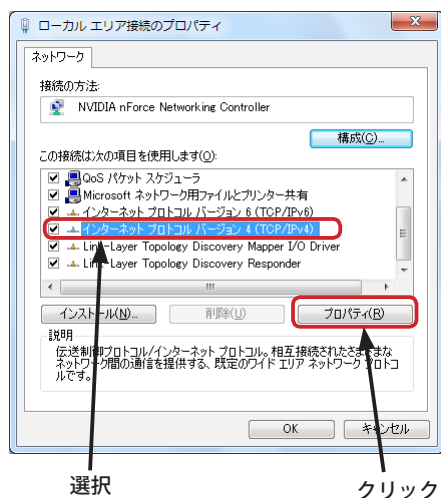
右クリック

選択

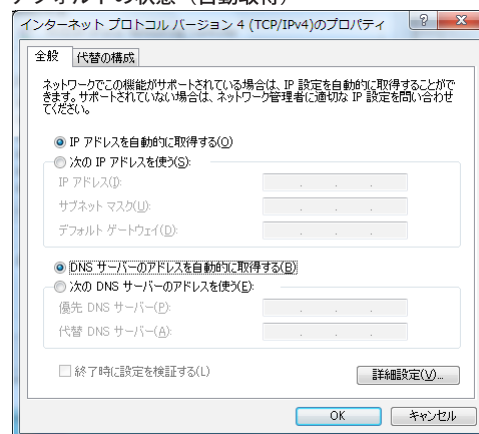




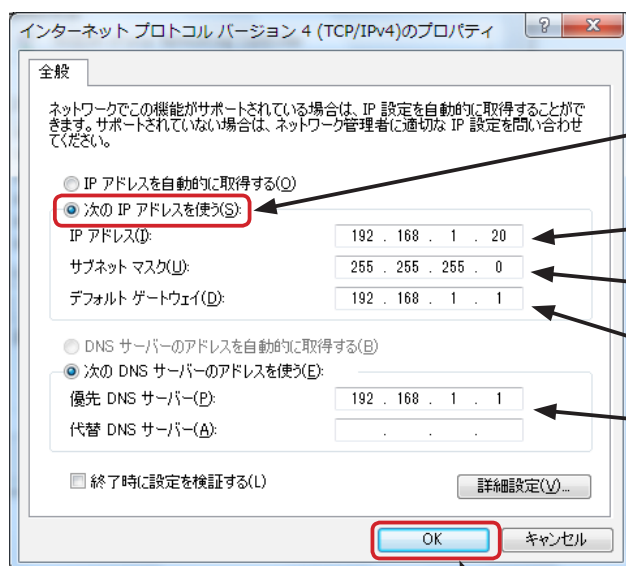
- (4)「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が開きます。「この接続は次の項目を使用します。」の一覧から「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



#### デフォルトの状態（自動取得）



- (5)「次の IP アドレスを使う」ラジオボタンを選択し、それぞれの項目を入力します。入力が終わったら、OK ボタンをクリックして画面を閉じます。「ローカルエリア接続のプロパティ」画面も OK ボタンをクリックして閉じてください。



- ・ IP アドレスは、この PC のアドレスになります。この説明書の例では、192.168.2.20
- ・ サブネットマスクは、通常 255.255.255.0 で大丈夫です。詳しくはネットワーク管理者へ確認してください。
- ・ デフォルトゲートウェイは、ルーターのアドレスです。この説明書の例では、192.168.2.1
- ・ DNS サーバーは、ルーターのアドレスで問題ありません。接続が上手く行かない場合は、プロバイダーの接続情報に記載されているアドレスを入力してください。

入力が完了したらクリック

## PPTP サーバーの設定

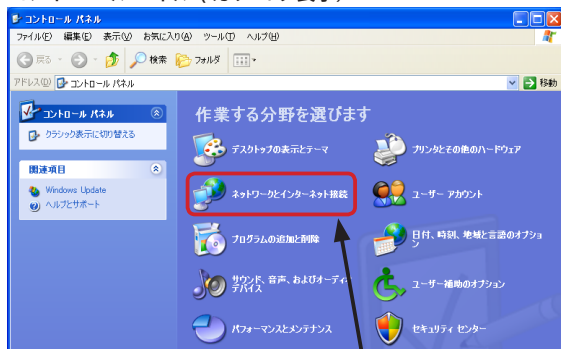
PPTP サーバーは新しいネットワーク接続を作成する手順によって行います。ネットワーク接続を表示するところまでは、IP アドレスの設定と同様になりますので、注意してください。

※ルーターによっては、PPTP サーバーの機能を有するものもあります。その場合は Windows で PPTP サーバーの設定をする必要はありません。ルーターによる PPTP サーバーの設定については各ルーターのマニュアルを参照してください。

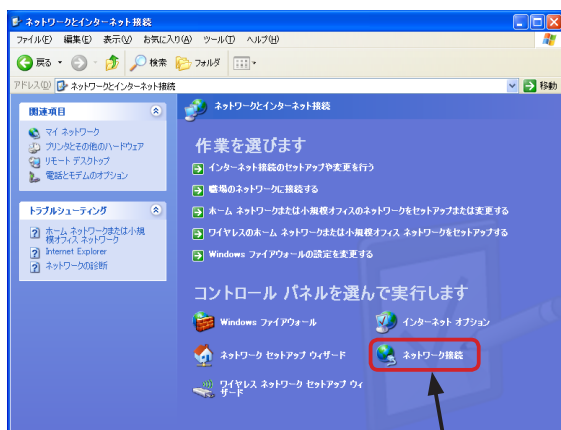
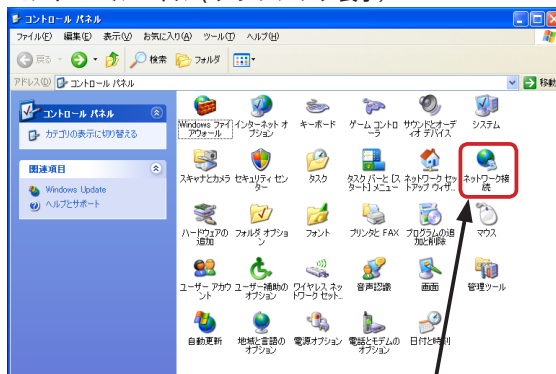
### Windows XP の場合

(1) コントロールパネルを開きます。次に、「ネットワークとインターネット接続」-「ネットワーク接続」を選びます。(クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」を選んでください。)

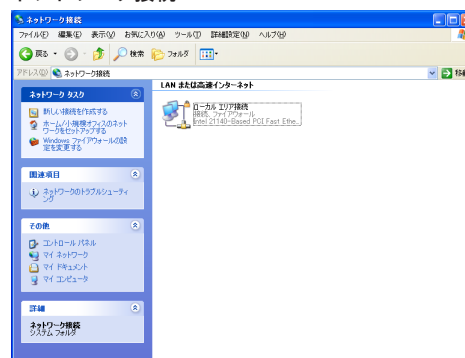
コントロールパネル (カテゴリ表示)



コントロールパネル (クラシック表示)

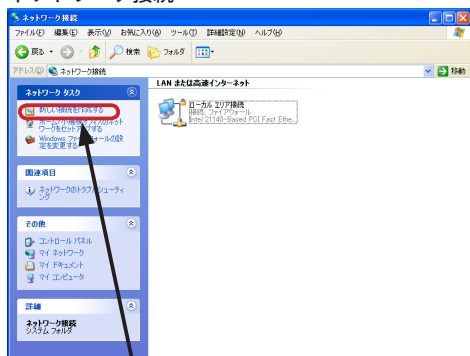


ネットワーク接続

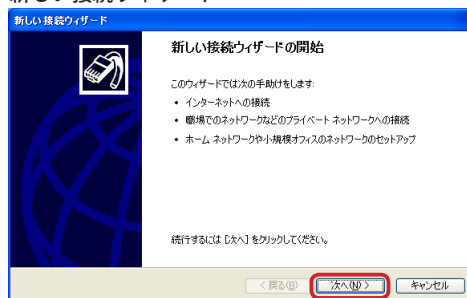


(2) 「ネットワーク接続」画面の左側「ネットワークタスク」から「新しい接続を作成する」を選んでください。「新しい接続ウィザード」画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックしてください。

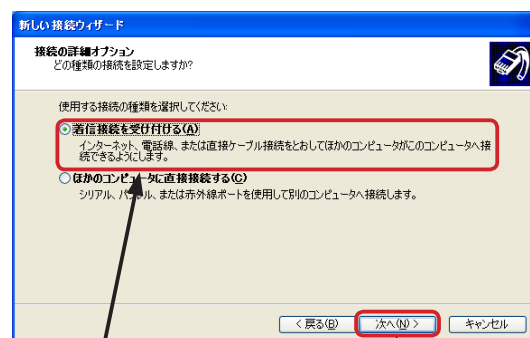
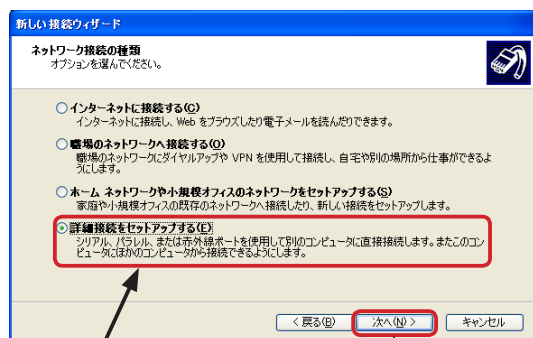
ネットワーク接続



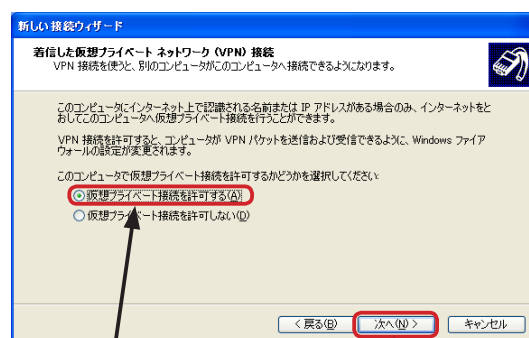
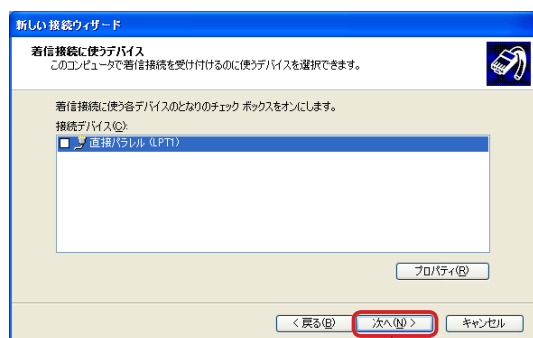
新しい接続ウィザード



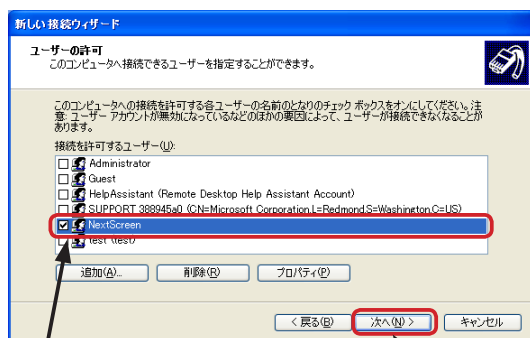
- (3) 「ネットワーク接続の種類」画面で、「詳細接続をセットアップする」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。次に表示される画面「接続の詳細オプション」で「着信接続を受け付ける」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。



- (4) 「着信接続に使うデバイス」画面では何も選択しないで、「次へ」ボタンをクリックします。次に表示される画面「着信した仮想プライベートネットワーク (VPN) 接続」では、「仮想プライベート接続を許可する」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。



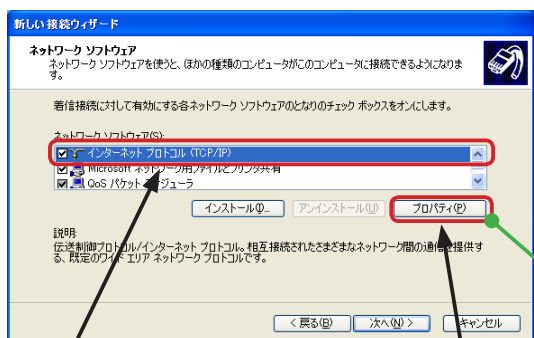
- (5) 「ユーザーの許可」画面では、接続に使用するユーザーを選択し（チェックボックスにチェックを入れる）、「次へ」ボタンをクリックします。（ここでは、NextScreen というユーザーを選択しています。）



※ここで接続に使用するユーザーは、アップロードフォルダに対して読み書き可能なユーザーを指定してください。

次ページへ

- (6) 「ネットワークソフトウェア」画面で、「インターネット プロトコル (TCP/IP)」を選び、「プロパティ」ボタンをクリックします。



①選択

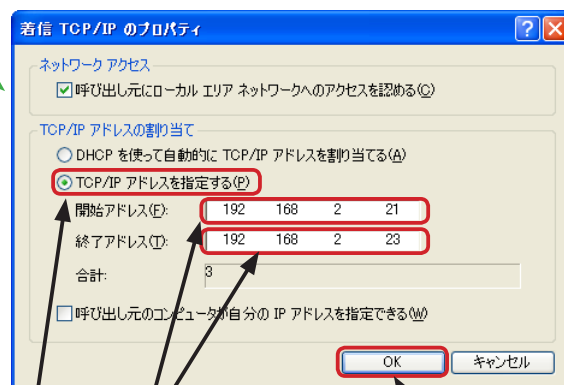
②クリック

- (7) 「着信 TCP/IP のプロパティ」画面が表示されるので、「TCP/IP アドレスの割り当て」で、「TCP/IP アドレスを指定する」を選択します。  
「開始アドレス」と「終了アドレス」を入力し、「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。

※開始アドレスと終了アドレスはVPN 接続を許可するクライアント数になるように設定します。(「合計」の欄で確認できます。)

※この説明書の例では、ビューワの PC の IP アドレスが 192.168.2.20 としているので、それに続く IP アドレス (192.168.2.21 ~ 192.168.2.23) を設定しています。この例では最大 3 台のクライアント接続ができます。

※ IP アドレス範囲はネットワーク内の他の機器で使用されていないものを指定してください。

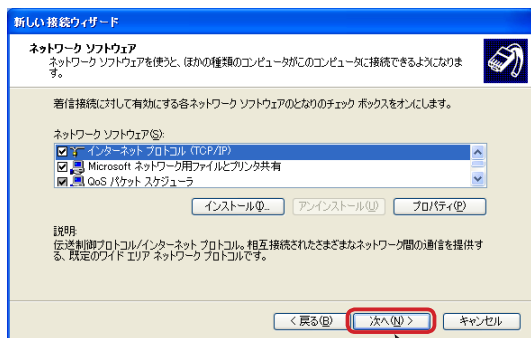


選択

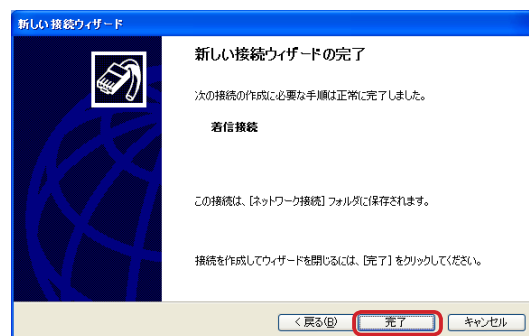
入力

クリック

- (8) 「着信 TCP/IP のプロパティ」画面が閉じると、再び「ネットワークソフトウェア」の画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします。次に完了画面が表示されるので、「完了」ボタンをクリックします。

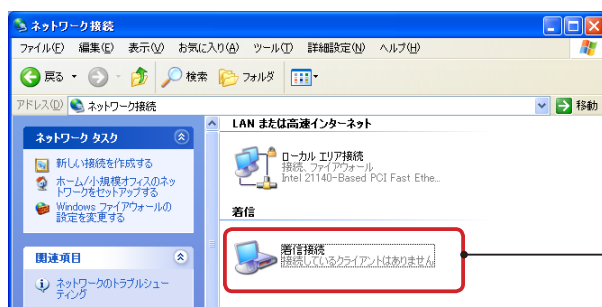


クリック



クリック

- (9) 「ネットワーク接続」画面に着信接続が追加されます。ビューワ PC の設定は完了です。



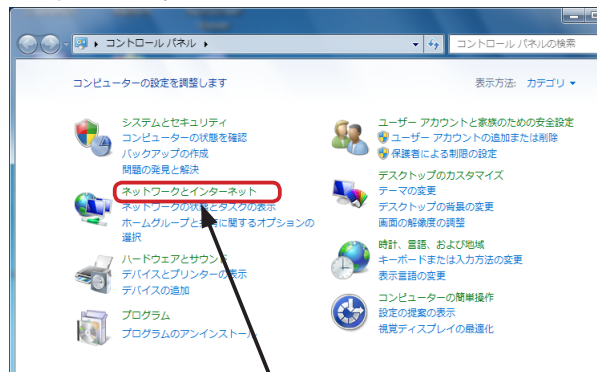
着信接続が追加される

## Windows Vista / 7 の場合

PPTP サーバーの設定方法を説明します。Windows 7 の画面を中心に説明しますが、Windows Vista においてもほぼ同様に行うことができます。

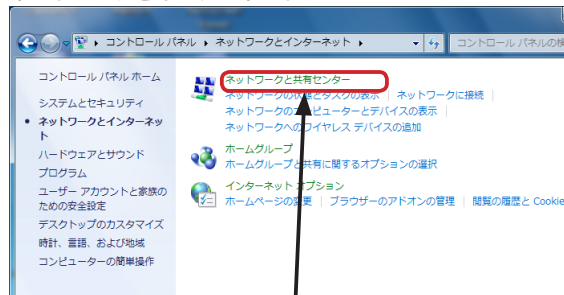
- (1) コントロールパネルから「ネットワークとインターネット」を選びます。次に表示される画面で、「ネットワークと共有センター」を選びます。

### コントロールパネル



クリック

### ネットワークとインターネット



クリック

- (2) 「ネットワークと共有センター」画面で、「アダプターの設定の変更」を選びます。(ネットワーク接続画面が表示されます。)

### ネットワークと共有センター



クリック

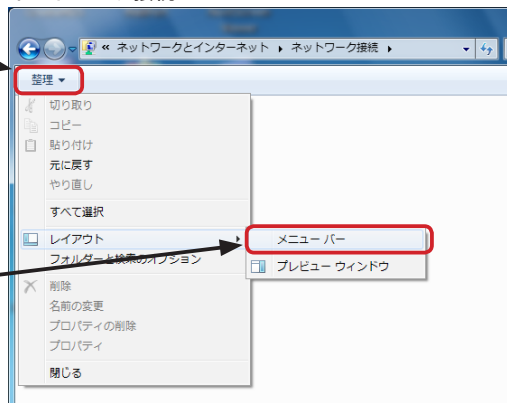
### ネットワーク接続



- (3) 「ネットワーク接続」の画面にメニューバーが表示されていない場合は、「整理」－「レイアウト」－「メニューバー」を選択してメニューバーを表示させます。

### ネットワーク接続

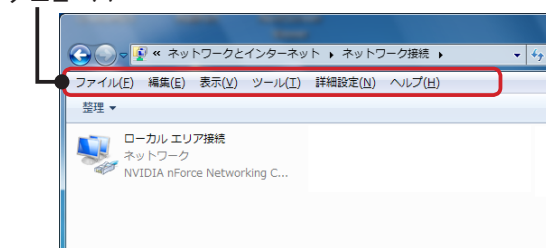
クリック



選択

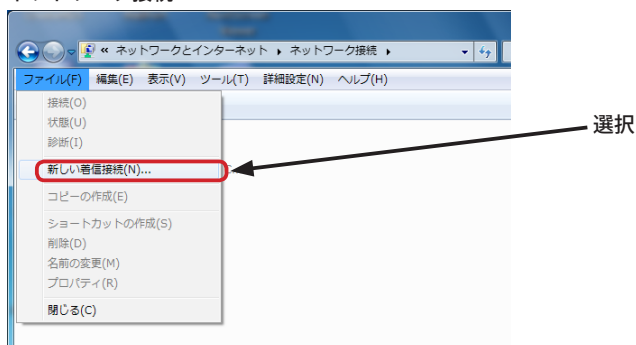
※メニューバーが表示されているときは、この手順は必要ありません。

### メニューバー

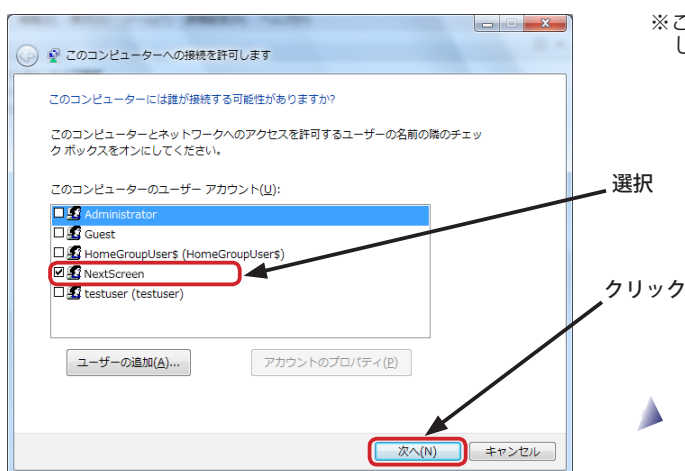


(4) 「ネットワーク接続」画面のメニューから「ファイル」－「新しい着信接続」を選びます。

#### ネットワーク接続

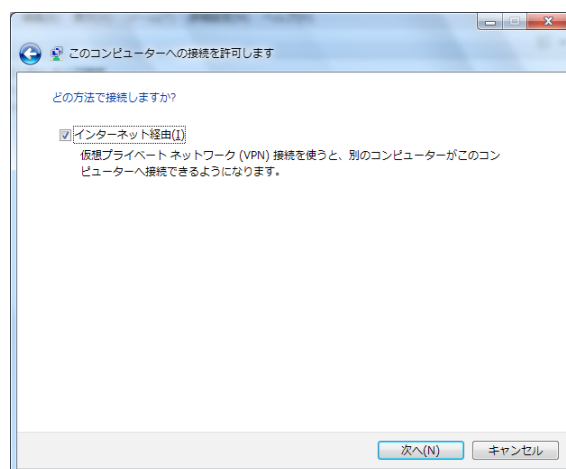


(5) 「このコンピュータには誰が接続する可能性がありますか？」画面のユーザーアカウント一覧から、接続に使用するユーザーを選択し（チェックボックスにチェックを入れる）、「次へ」ボタンをクリックします。（ここでは、NextScreen というユーザーを選択しています。）

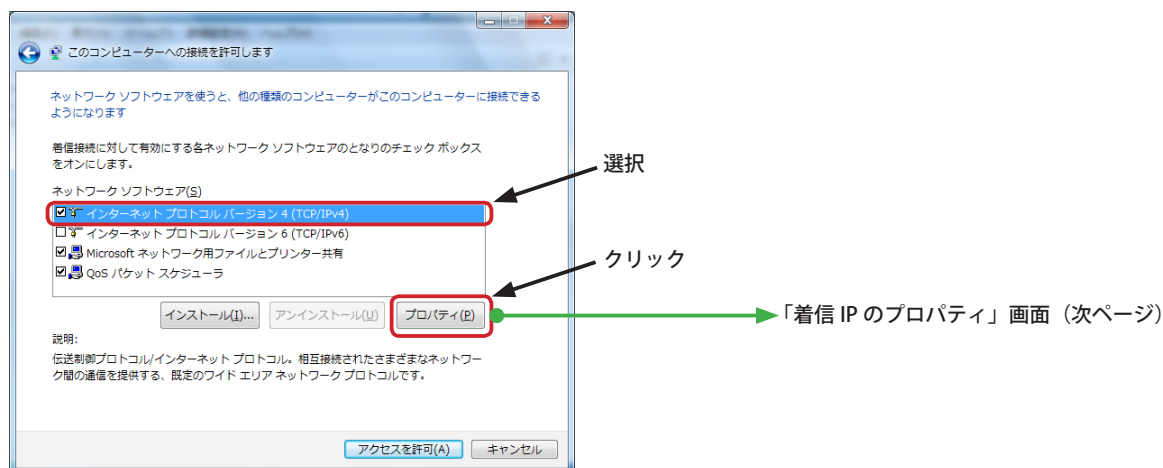


※ここで接続に使用するユーザーは、アップロードフォルダに対して読み書き可能なユーザーを指定してください。

(6) 「どの方法で接続しますか？」画面では、「インターネット経由」にチェックが入っていることを確認して「次へ」ボタンをクリックします。

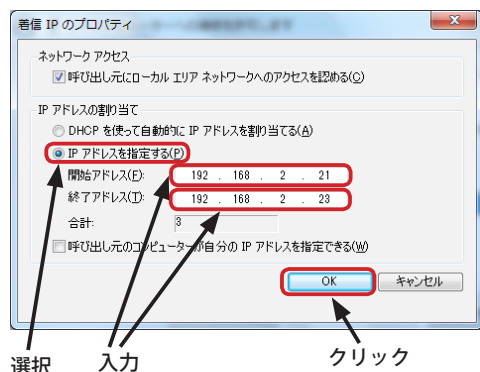


(7) ネットワークソフトウェアの一覧で「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IP)」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックします。





- (8) 「着信 IP のプロパティ」画面が表示されるので、「TCP/IP アドレスの割り当て」で、「TCP/IP アドレスを指定する」を選択します。  
 「開始アドレス」と「終了アドレス」を入力し、「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。

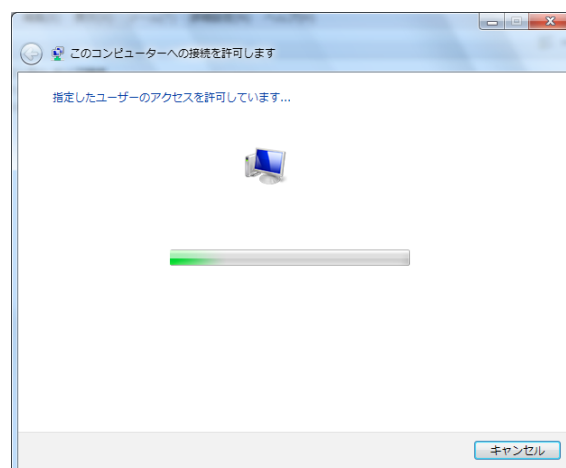
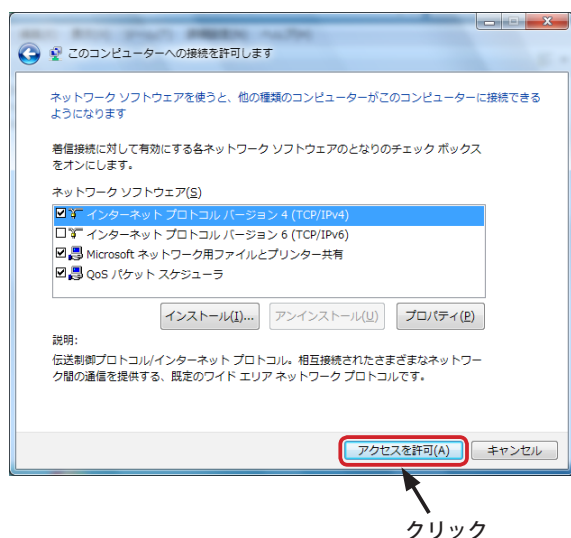


※開始アドレスと終了アドレスはVPN接続を許可するクライアント数になるように設定します。（「合計」の欄で確認できます。）

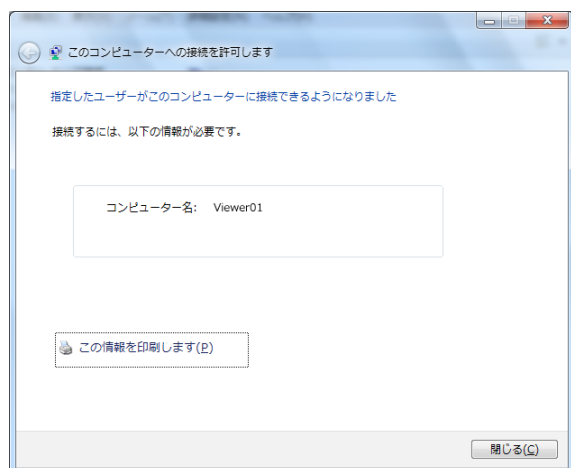
※この説明書の例では、ビューワのPCのIPアドレスが192.168.2.20としていたので、それに続くIPアドレス（192.168.2.21～192.168.2.23）を設定しています。この例では最大3台のクライアント接続ができます。

※IPアドレス範囲はネットワーク内の他の機器で使用されていないものを指定してください。

- (9) ネットワークソフトウェアの一覧画面に戻りますので、「アクセスを許可」ボタンをクリックします。



- (10) 「指定したユーザーがこのコンピューターに接続できるようになりました」画面が表示されれば完了です。



※VPNクライアントからサーバーに最初に接続したときに、VPNサーバー（ビューワPC）では「ネットワーク場所の設定」画面が表示されます。「社内ネットワーク」を選択してください。







## 第 2 章 ルーターの設定

## 第 2 章 ルーターの設定

### ルーターの設定について

PPTP による VPN を構築するためには、ルーターが「VPN パススルー」機能を有している必要があります。エディタ PC を設置するネットワークのルーターには、VPN **クライアント**のパススルー機能が必要です。また、ビューワ PC を設置するネットワークのルーターには、VPN **サーバー**のパススルー機能が必要になります。(通常「VPN マルチパススルー機能」と記載されている場合は、VPN クライアントのパススルー機能を指すことが多いと思われます。)

ルーターによっては PPTP サーバーの機能を有するものもあります。ルーターの PPTP サーバーの機能を利用する場合はこの章で説明する設定は不要になります。

この章では、NTT のフレッツ ADSL/ 光によるインターネット接続を利用した際にレンタルにて利用されるルーターを例に説明いたします。他のルーターを使用している場合は、それぞれのルーターのマニュアル等を参照してください。

この章では次のルーターで VPN パススルー（サーバー）の設定について説明します。

#### 【NTT Web Caster V110】

- ・フレッツ ADSL/ 光用ルーター

#### 【NTT ADSL モデム -NV】

- ・フレッツ ADSL モデム（ルーター機能付）

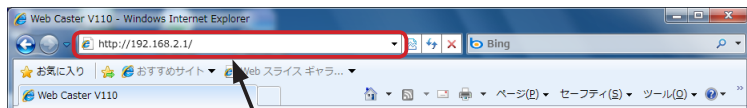
## VPN パススルーの設定

ビューワ PC を PPTP サーバーとして設定済ということを前提として、ルーターに VPN パススルーの設定を行います。ネットワーク構成は、7 ページの例を元に説明します。

### Web Caster V110 の場合

- (1) Web ブラウザー（Internet Explorer など）を起動して、アドレスバーにルーターの IP アドレス（今回の例では、192.168.2.1）を入力し、Enter キーを押します。

Web ブラウザー



ルーターの IP アドレスを入力

- (2) ユーザー名およびパスワードを入力するダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。（Web Caster V110 のユーザー名は「admin」、パスワードは設定したパスワードです。）

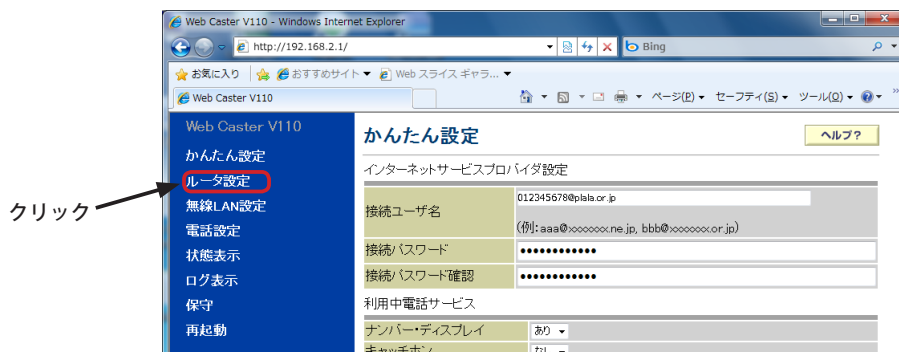


ユーザー名を入力

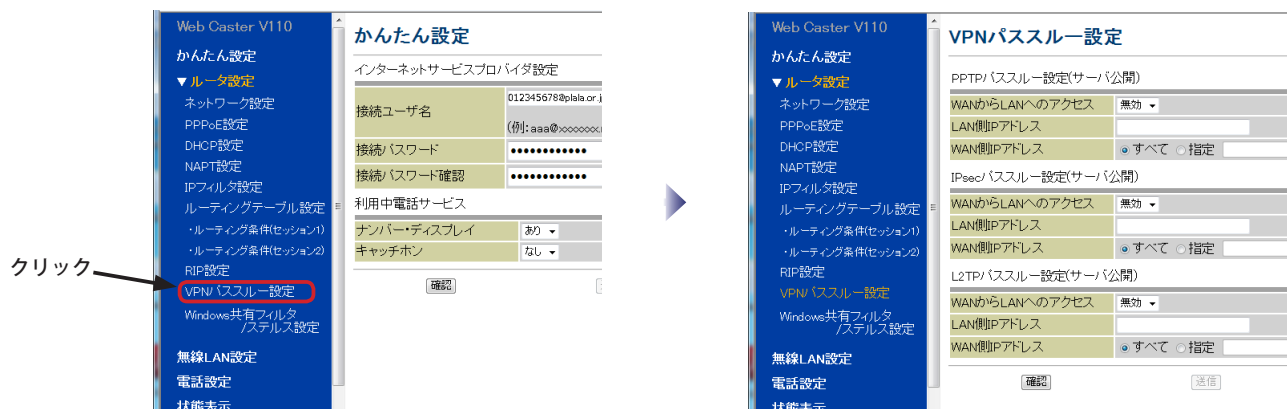
パスワードを入力

クリック

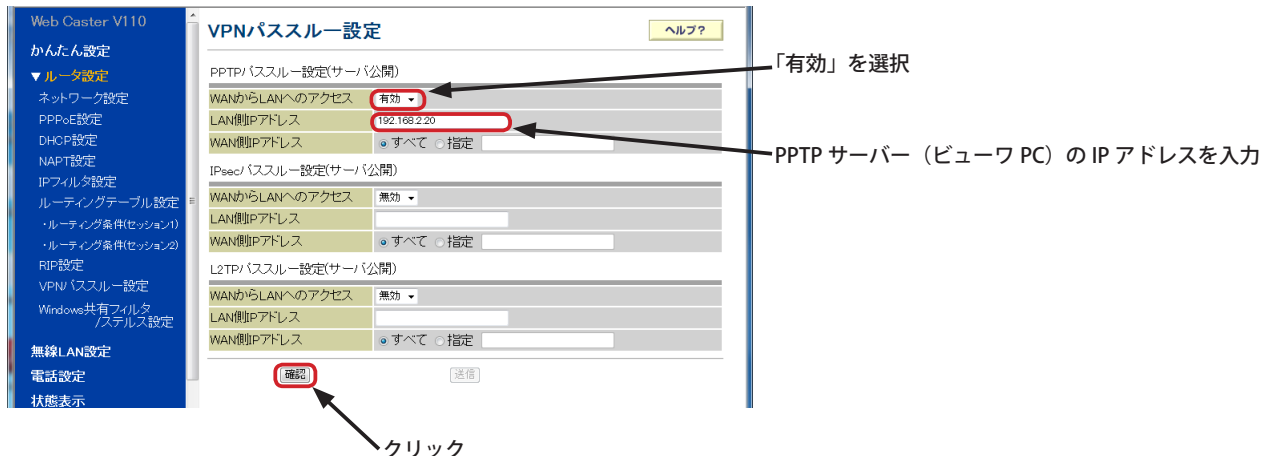
- (3) ログイン直後は「かんたん設定」の画面が表示されます。左側のメニューの「ルータ設定」をクリックします。



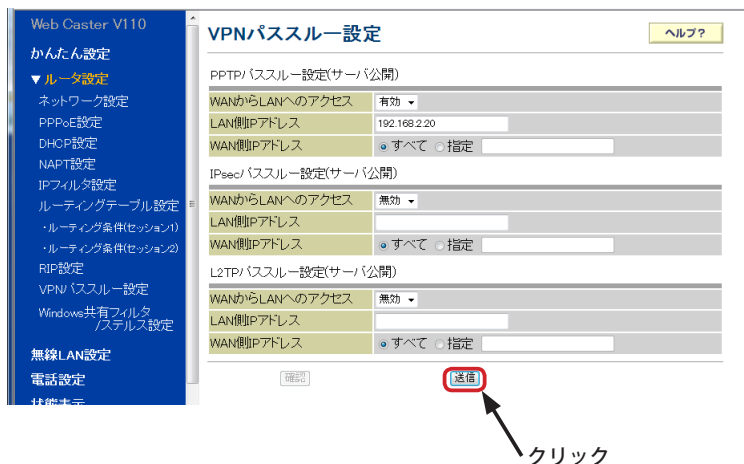
- (4) メニューが展開されるので、次に「VPN パススルー」をクリックします。（VPN パススルー設定画面が表示されます。）



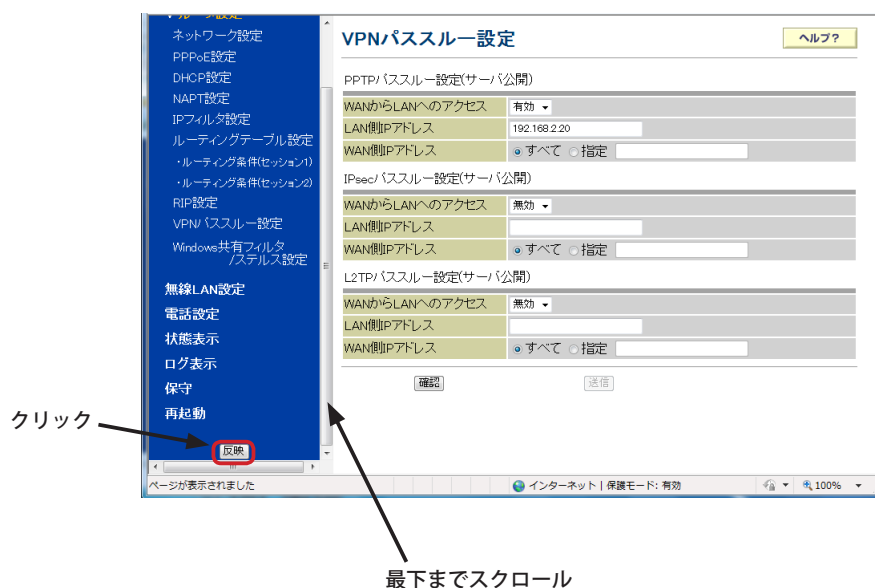
- (5) 「VPN パススルー設定」画面の上部の「PPTP パススルー設定 (サーバ公開)」をします。「WAN から LAN へのアクセス」を「有効」にします。「LAN 側アドレス」に PPTP サーバー (ビューワ PC) の IP アドレスを入力します。(今回の例では、192.168.2.20 になります。) すべて入力後、「確認」ボタンをクリックします。



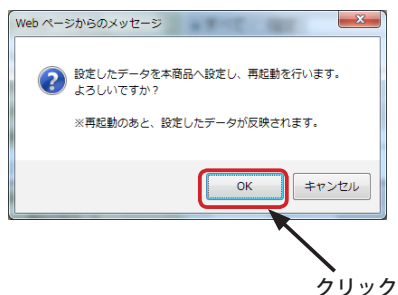
- (6) 「確認」ボタンをクリックし、入力に問題がなければ、「送信」ボタンが有効になります。「送信」ボタンをクリックしてください。



- (7) 「送信」ボタンをクリック後、左側のメニューの一番下にある「反映」ボタンをクリックしてください。画面サイズによっては「反映」ボタンが見えない場合があります。そのときは、スクロールバーを使って最下までメニューをスクロールさせてください。



- (8) 「反映」 ボタンをクリックすると、ルーターの再起動ダイアログボックスが表示されます。「OK」 ボタンをクリックしてください。※ルーターの再起動中は一切の通信ができなくなります。IP 電話なども使用できなくなりますのでご注意ください。

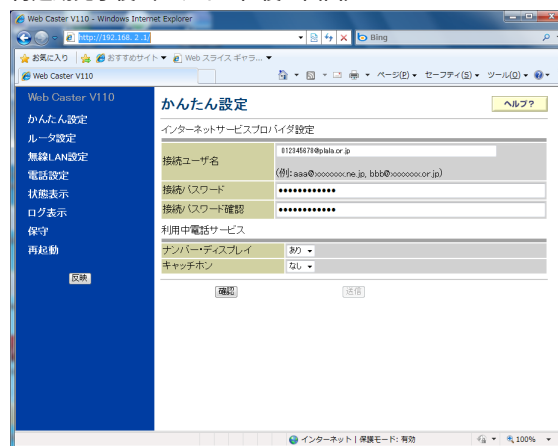


- (9) 「再起動中」の画面が表示されます。しばらくすると、ログイン直後の画面に変わります。ログイン直後の画面に変われば、設定は完了です。(Web ブラウザーを閉じてください。)

#### 再起動中



#### 再起動完了後（ログイン直後の画面）

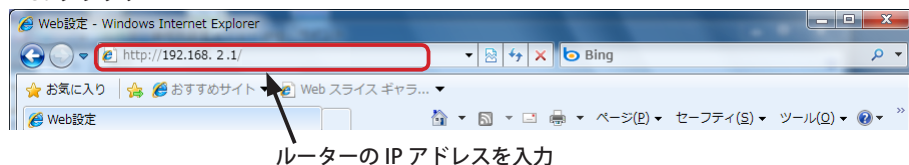


## ADSL モデム - NV の場合

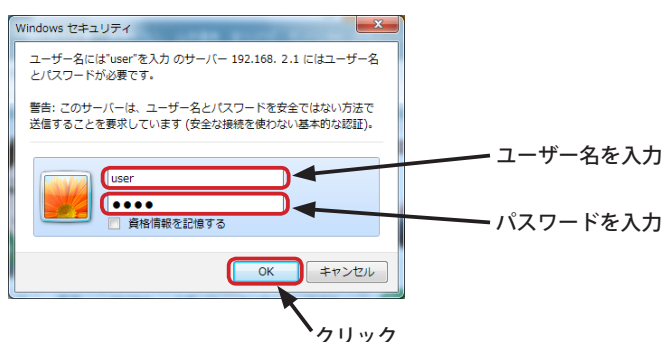
ADSL モデム - NV のルーター機能の設定には「VPN パススルー」の項目がありません。「静的 IP マスカレード」に NAT エントリを追加することによって行います。（この手法は他のルーターでも使える可能性があります。）

- (1) Web ブラウザー（Internet Explorer など）を起動して、アドレスバーにルーターの IP アドレス（今回の例では、192.168.2.1）を入力し、Enter キーを押します。

Web ブラウザー



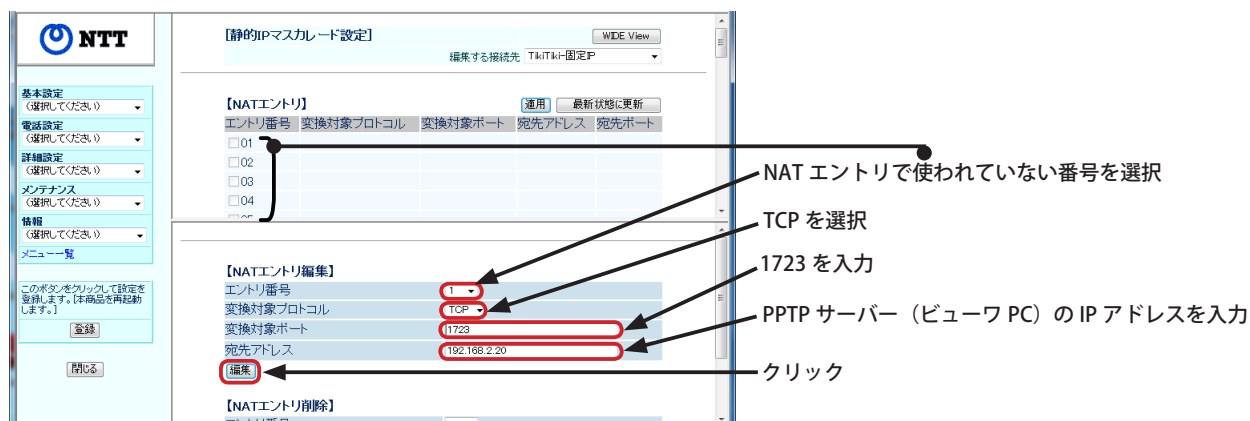
- (2) ユーザー名およびパスワードを入力するダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。（ADSL モデム -NV のユーザー名は「user」、パスワードは設定したパスワードです。）



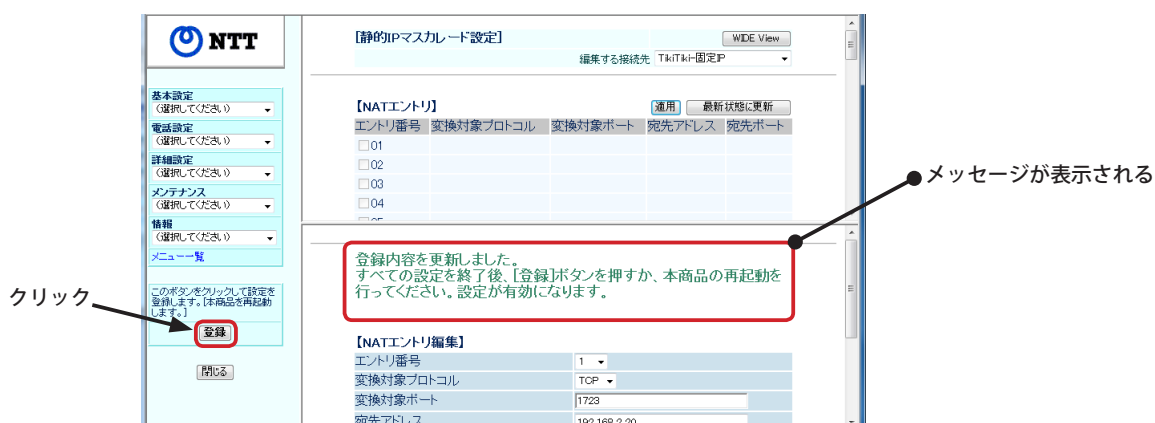
- (3) ログイン後、左側のメニューから「詳細設定」－「静的 IP マスカレード設定」を選びます。



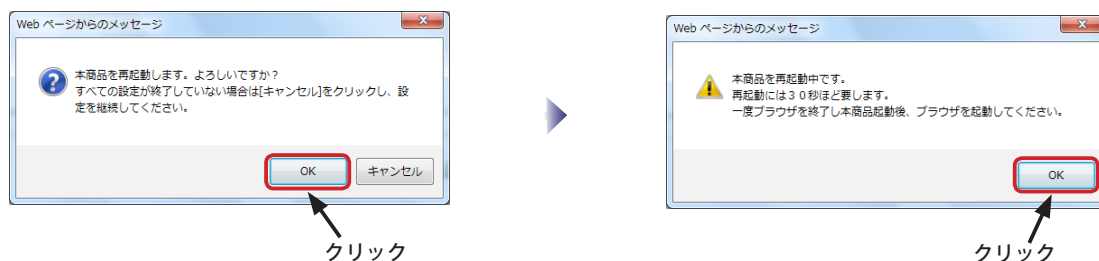
- (4) 「静的 IP マスカレード設定」画面の下部「NAT エントリ編集」の欄に入力します。まず、「エントリ番号」は画面上部の「NAT エントリ」で使用されていない番号を選びます。（この例では番号 1）次に「変換プロトコル」は「TCP」を選びます。「変換対象ポート」は「1723」です。宛先アドレスは、PPTP サーバー（ビューワ PC）の IP アドレスを入力します。（この例では、192.168.2.20）入力後、「編集」ボタンをクリックします。



- (5) 画面上に、「登録内容を更新しました、、、、」というメッセージが表示されます。左側のメニューの下部の「登録」ボタンをクリックしてください。



- (6) ルーターの再起動を確認するダイアログボックスが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。  
 ※ルーターの再起動中は一切の通信ができなくなります。IP 電話なども使用できなくなりますのでご注意ください。  
 「OK」ボタンをクリック後、再起動中のダイアログボックスが表示されますので、「OK」ボタンをクリックして閉じてください。(Web ブラウザーも閉じてください。)



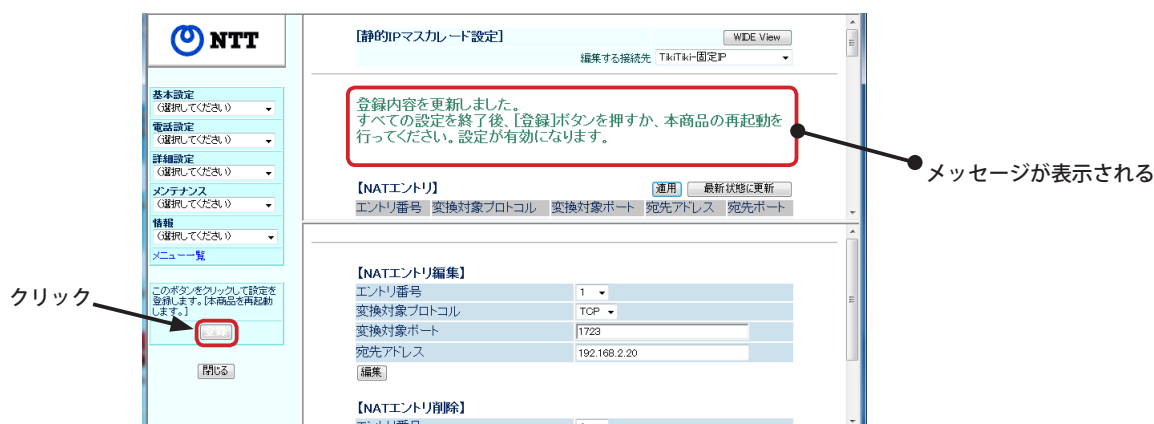
- (7) 30 秒程待つから、Web ブラウザーを立ち上げ、ルーターにアクセスします。ログインユーザーとパスワードを尋ねられるので、入力してログインします。ログイン後は、左側のメニューから「詳細設定」－「静的 IP マスカレード設定」を選びます。{この手順は、(1)～(3)と同様です。(1)～(3)の手順を参照してください。}  
 NAT エントリに (4) の手順で入力した値が追加されていることを確認してください。



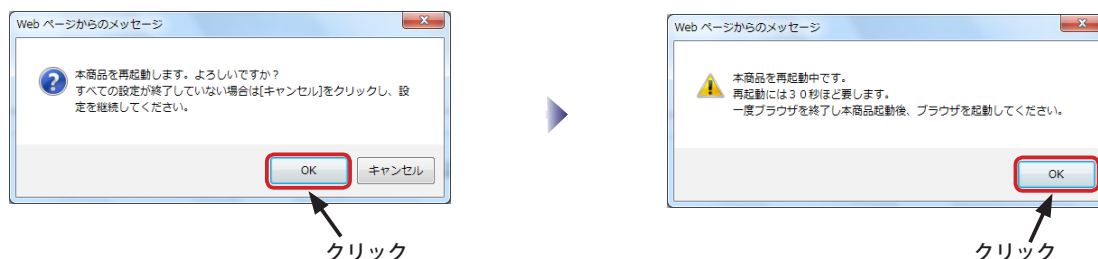
- (8) 追加された NAT エントリのチェックボックスにチェックを入れ、「適用」ボタンをクリックしてください。



(8) 画面上に、「登録内容を更新しました、、、、」というメッセージが表示されます。左側のメニューの下部の「登録」ボタンをクリックしてください。



(9) ルーターの再起動を確認するダイアログボックスが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。  
※ルーターの再起動中は一切の通信ができなくなります。IP 電話なども使用できなくなりますのでご注意ください。  
「OK」ボタンをクリック後、再起動中のダイアログボックスが表示されますので、「OK」ボタンをクリックして閉じてください。(Web ブラウザーも閉じてください。)



(10) ルーターが起動すれば、設定は完了です。



## 第 3 章 ダイナミック DNS の設定

## 第3章 ダイナミック DNS の設定

### ダイナミック DNS について

インターネットを利用する VPN を構築するためには通常、「固定グローバル IP アドレス」（以下「固定 IP」と表記）が必要になります。ところが、一般的なインターネット接続サービスを申し込むと、この固定 IP を使用することができません。オプションのサービスとして固定 IP が使用できるようになる場合もありますが、ISP（インターネットサービスプロバイダ）を変更しなければならないこともあります。

固定 IP ではない場合は、自動的にグローバル IP アドレスを割り当てられます。（以下「動的 IP」と表記） 動的 IP の場合、一定時間が経過すると IP アドレスが変わってしまいます。IP アドレスが変わってしまうと、VPN のサーバーへクライアントから接続することができなくなってしまいます。

サーバー側が動的 IP であってもアクセス可能にするサービスが「ダイナミック DNS」です。

ダイナミック DNS はある特定のインターネット上の名前（完全なホスト名）に関連付けられた IP アドレスを自動的に更新するサービスです。ダイナミック DNS は有料・無料のサービスがいくつも存在します。この章では、IP アドレスを自動的に通知するソフトウェアを提供している「No-IP」というサービスを利用する方法について説明いたします。

「No-IP」については以下の URL を参照してください。（英語のみの情報です。）

<http://www.no-ip.com/>

この説明書では説明いたしません、次のようなダイナミック DNS のサービスがあります。（全て日本語表示のサービス。動作確認等はしていません）

- Dynamic DO!.jp <http://ddo.jp/>
- IvyNetwork <http://dp-21.net/>
- BIGLOBE <http://dom.onamae.com/biglobe-ddns/>

ルーターの製造販売会社が自社製ルータへ提供しているダイナミック DNS（BUFFALO 社のみ動作確認済）

- PLANEX <http://cybergate.planex.co.jp/ddns/>
- IO-DATA <http://www.iobb.net/>
- Logitech <http://www.logitech.co.jp/products/ddns.html>
- corega <http://corega.jp/product/navi/corede-net/>
- BUFFALO <http://buffalo.jp/products/catalog/network/remoteaccess/bddns-info.html>

※ルーター製造販売会社は自社製品のルーター向けに有償でダイナミック DNS のサービスを提供しています。同社製のルーターを使用する際には、このサービスを利用するのが最も簡単な方法になります。

※ダイナミック DNS は技術的に、常にアクセスを可能にするものではありません。（一定時間接続できなくなる可能性がある） やむを得ない場合を除いて、極力固定グローバル IP アドレスを使用してください。

#### 【重要】

ここで紹介しているダイナミック DNS による運用については、福猫株式会社として推奨するものではありません。また、ダイナミック DNS を利用してのトラブルや動作についての一切の保証もいたしません。ご了承ください。

## No-IP へのユーザー登録

ダイナミック DNS を利用するためにはそのサービスを提供しているサーバーへユーザー登録（アカウント作成）をする必要があります。ここでは、「No-IP」というダイナミック DNS のサービスへ登録して使用方法を説明します。No-IP では無料のサービスと有料のサービスがあります。ここでは無料のサービスへの登録方法を説明します。

※登録には受信可能な E メールアドレスが必要になります。

※無料のサービスは、ホスト名（コンピュータ）を 5 つまで登録可。60 日毎にホスト名を更新する必要があります。接続先の拠点が 5 箇所を越える場合や、60 日毎の更新作業を行いたくない場合は有料のサービスを利用してください。{No-IP Enhanced の場合、年間利用料 \$9.95（約 900 円） .... 2010 年 9 月現在 }

(1) Web ブラウザー（Internet Explorer など）を起動して、No-IP のトップページにアクセスしてください。

URL     <http://www.no-ip.com/>

ページが開いたら、下部左側にある「No-IP Free」リンクをクリックしてください。



(2) 「Managed DNS: No-IP™ Free」というページに移ります。中央から上の所に、E メールアドレスを入力する欄がありますので、受信可能な E メールアドレスを入力します。（Sign Up For No-IP™ FREE! Email Address というところです。）入力後、「Sign Up Now!」というボタンをクリックします。



※登録後、「unmonitored-webmaster@no-ip.com」というメールアドレスから必要なメールが送られてきます。このメールアドレスからのメールを受信できるようにしておいてください。（スパムフィルターを使用している場合は注意）

- (3) 「Create Your No-IP Account」というページが表示されます。アカウントを作成するために必要な情報を入力してください。入力が終わったら、ページ下部のチェックボックス (I agree that I will only create one free No-IP account.) にチェックを入れて、「I Accept, Create my Account」 ボタンをクリックします。

チェックを入れる

クリック

#### Account Information:

- ① Email :  
前のページで入力されたメールアドレスが表示される
- ② Password :  
希望するパスワードを入力する (半角英数字)
- ③ Confirm Password :  
同じパスワードを入力する (確認のため)

#### About You:

- ④ First Name :  
名を入力する (英字)
- ⑤ Last Name :  
姓を入力する (英字)
- ⑥ How did hear about us ? :  
どこでこのサービスを知ったのかを尋ねています。  
「Other」を選択しておけば良いでしょう。
- ⑦ Zip/Postal Code :  
郵便番号を入力

#### About You:

ここは、パスワードなどを忘れてしまったときにアカウント情報へアクセスするための情報です。入力した内容は忘れないものにしておきましょう。

- ⑧ Security Question :  
秘密の質問を選択します。「What is all-time favorite sports?」(好きなスポーツは?) を選択しておけば良いでしょう。
- ⑨ Your Answer :  
秘密の質問の答えを入力します。この例では、「baseball」(野球) と入力。その他「soccer」(サッカー)、「tennis」(テニス)、「golf」(ゴルフ) などでも良いでしょう。
- ⑩ Birthday :  
誕生日を入力します。月、日、年の順です。月は英語名称から選びますが、上から 1 月、2 月、... と並んでいるので数えればわかります。年は西暦です。

#### Account Verification:

ここは、画面を見て情報を入力しているかどうかをシステムが見分けるためのものです。もし、画面の文字が読めないときは、「Get two new words」をクリックして別の文字を表示させます。(PC で音が出るのであれば、「Hear a set words」をクリックすると読み上げてもらえます。)

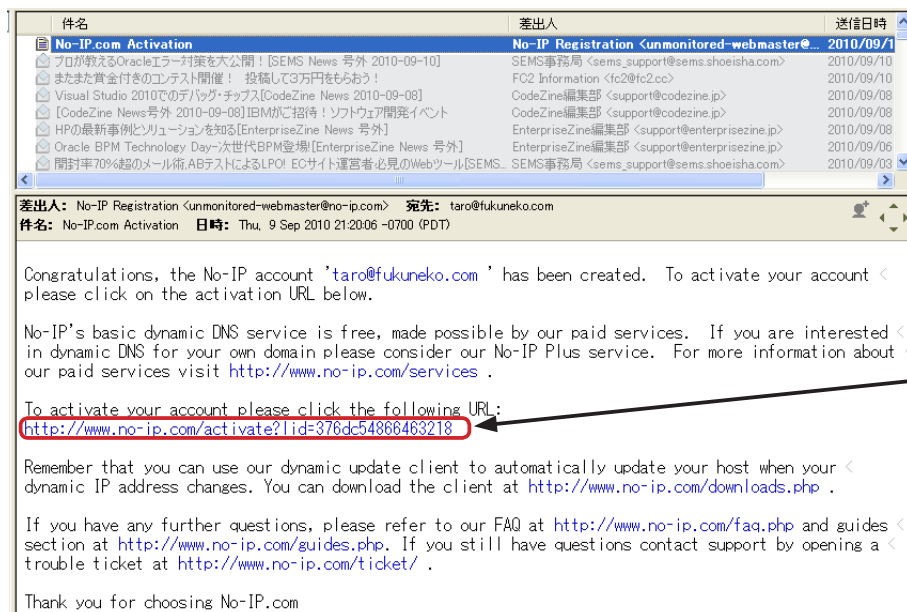
- ⑪ Type the tow words above :  
上に表示されている歪んだアルファベットを (2 つの単語) 入力します。単語と単語の間はスペースを入力してください。この画面の例では、「courpora canon」と入力しています。この画面を表示する度に違う単語が表示されますので、注意してください。

- (4) 「Confirmation email is on its way!」というページが表示されれば、登録を有効にする情報が E メールで送られます。数分以内にメールが送られてきますので、メーラー (メールソフト) を立ち上げててください。

(5) メーラーを立ち上げたら、新着のメールを受信してください。「Non-IP.com Activation」というタイトルのメールを探して開いてください。

メール本文の中程に「To activate your account please click the following URL:」とその下に、「<http://www.no-ip.com/activate?lid=376dc54866463218>」のような URL が記載されています。その URL をクリックするか、コピーして Web ブラウザーのアドレスへ貼り付けて URL へアクセスしてください。

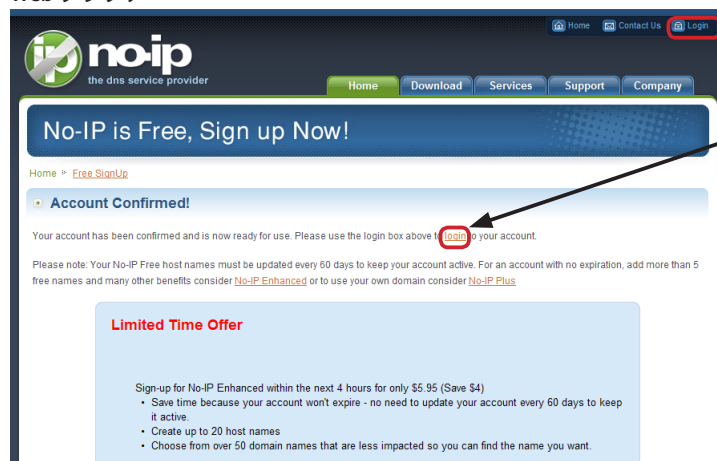
#### メーラー



クリック、またはコピーして Web ブラウザーのアドレスバーへ貼り付け

(6) 「Account Confirmed」のページが表示されれば、アカウントの登録は完了です。次にホスト名を登録するために、作成したアカウントでログインします。ページ右上またはページ本文中の「login」リンクをクリックしてください。

#### Web ブラウザー



どちらかをクリック

(7) ログインのページが表示されたら、「Email」の欄に登録した E メールアドレスを入力し、「Password」の欄にとパスワードを入力し、「Login」ボタンをクリックします。



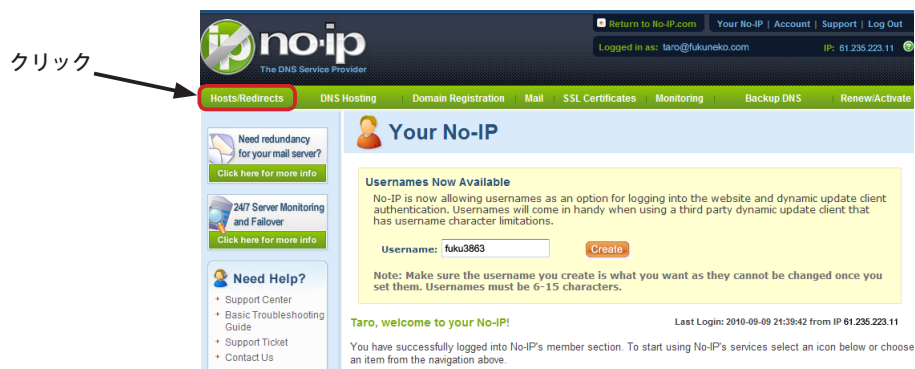
E メールアドレスを入力

パスワードを入力

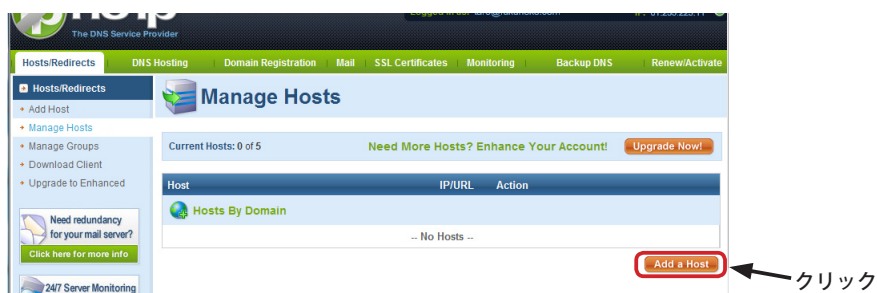
クリック



- (8) 「Your No-IP」のページが開きます。ここで、ログイン時に E メールアドレスの代わりに使用できるユーザー名を作成することができますが、今回は作成しないで（作成してもかまいません）、ページ上部のメニューの一番左「Hosts/Redirects」をクリックします。



- (9) 「Manage Hosts」のページが開きます。最初は何も登録されていないので、ホスト（コンピュータ）を登録します。ページ右側の一番したのボタン「Add a Host」をクリックします。



- (10) 「Add a Host」のページが開きます。まず「Hostname:」の入力欄の右側のドロップダウンメニューから任意のドメイン名を選びます。ドメイン名は、「No-IP Free Domains」の下の 23 個のドメイン内から選びます。次に、「Hostname」の入力欄にアクセスするコンピュータの名前を入力します。今回の例では、コンピュータの名前はビューワ PC にアクセスするための名称になります。ビューワ PC（ビューワ PC のネットワーク）がインターネット上で一意に認識できる名称を付ける必要があります。名称はその隣のドロップダウンメニューから選択できるドメインとの組み合わせになります。つまり選択したドメイン内で他のユーザーが使用していない（と思われる）名称を入力します。

「Host Type:」は「DNS Host (A)」を選択します。

IP アドレスは、ブラウザでアクセスしている PC が属するネットワークのルーターのアドレスが自動で入力されています。これは、ビューワ PC のネットワークのルーターの WAN 側 IP アドレスを指定する必要があります。もし、ビューワ PC のネットワーク外の PC からブラウザでこのページにアクセスしている場合は自動で入力されている IP アドレスは別のものになっています。IP アドレスがわかる場合は入力してください。もし不明の場合はそのまま進めます。

コンピュータ名を入力後、右下のボタン「Create Host」をクリックします。

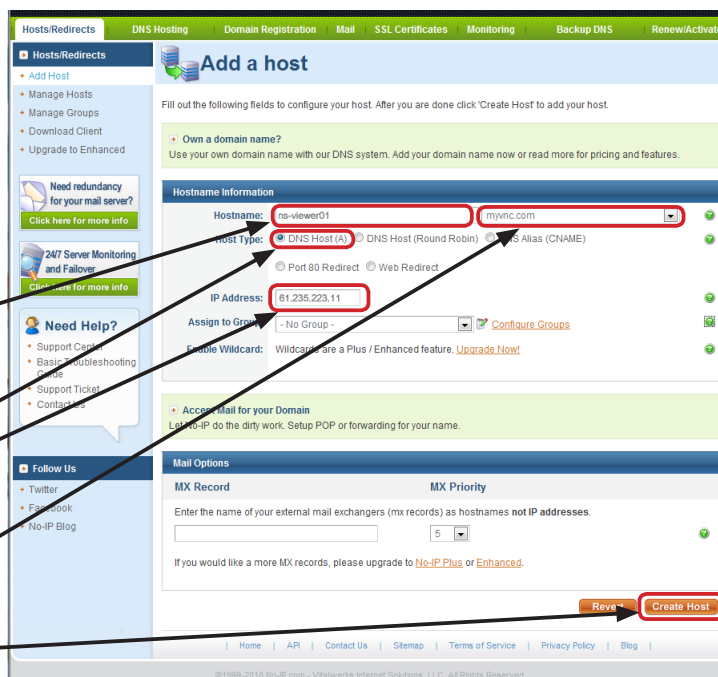
コンピュータ名を入力

選択

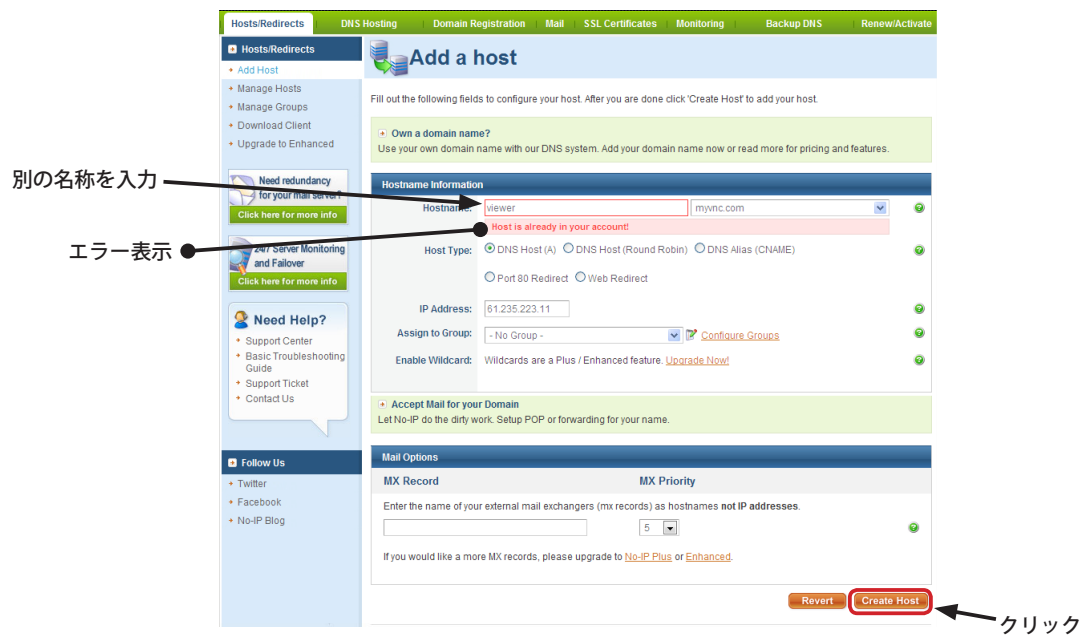
自動入力

希望のドメイン名を選択

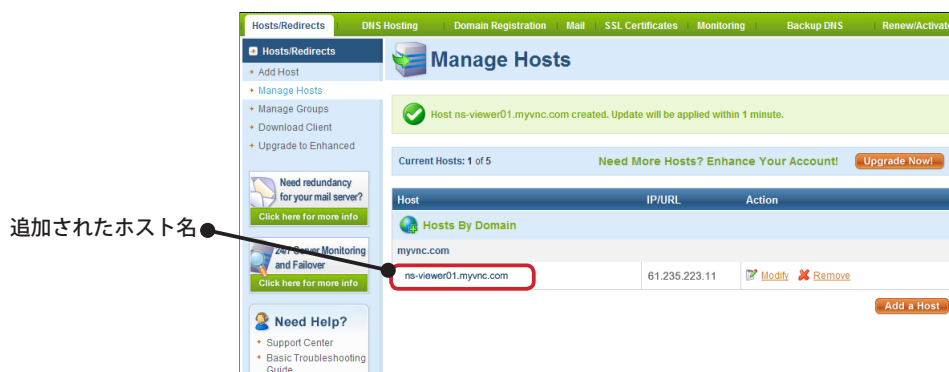
クリック



- (11) 希望のドメイン名の中に、入力したコンピュータ名が既に使用されているときは、次のような画面が表示されます。別の名称を入力して、もう一度「Create Host」ボタンをクリックします。



- (12) ホスト登録が完了すると、「Host」一覧に登録されます。ここで表示されているドメインを含めたホスト名は後で必要になるので、メモなどに控えておいてください。（この画面では、「ns-viewer01.myvnc.com」というホスト名です。）



## 自動更新ソフトウェア

ダイナミック DNS を利用するときに注意しなければならないのは、ホスト名を登録しただけでは、「最初は接続できたのに、いつの間にか接続できなくなった」という現象が起こるという点です。

これはインターネットへ接続を提供する ISP（Internet Service Provider：インターネット・サービス・プロバイダー）が動的に IP アドレスを割り当てているからです。一度割り当てられた IP アドレスは一定時間が経過すると、別の IP アドレスに変わります。

IP アドレスが変わったときは、ダイナミック DNS のサービスへ変更になった IP アドレスを通知しなければなりません。Web ブラウザーで登録したアカウントでログインして、手動で更新をするという方法もあります。ただし、この方法はビューワを遠隔地で運用する場合には使えないこともあります。

そこで、IP アドレスの変更を自動で通知するツールが必要になってきます。汎用的なツールもありますが、「No-IP」では専用のソフトウェアを用意しています。ここでは、専用のソフトウェアの設定について説明します。

※ここでの説明は、PPTP サーバーを設定した PC（ビューワ PC）で作業を行うことを前提としています。

### 自動更新ソフトウェアのダウンロード

(1) ソフトウェアをダウンロードするために、Web ブラウザー（Internet Explorer など）を起動して No-IP のトップページにアクセスしてください。

URL     <http://www.no-ip.com/>

ページが開いたら、上部メニューの左から 2 番目にある「Download」リンク（ボタン）をクリックしてください。



(2) 「Downloads」ページの中から下部の「Select your Operating System:」の中から「Windows」をクリックします。





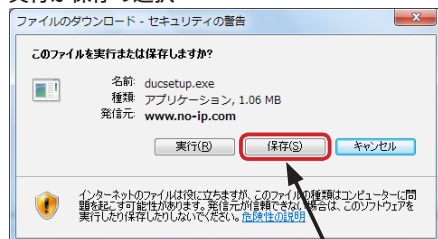
- (3) 「No-IP Windows Dynamic Update Client v3.0.x」と表記されたページに移ります。画面中央の「Download 3.0.x」（数字は異なるかもしれませんが）というリンクまたは Windows のロゴをクリックします。

どちらかをクリック



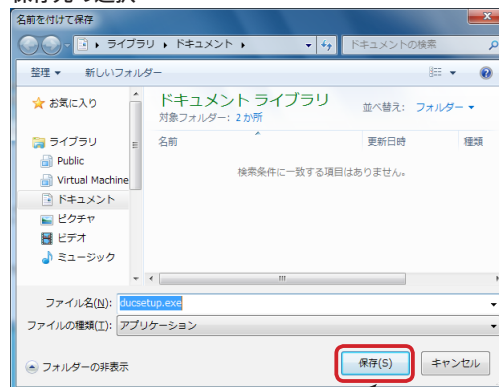
- (4) 実行か保存かを選択するダイアログボックスが表示されるので、「保存」ボタンをクリックします。保存場所を尋ねるダイアログボックスが表示されたら、わかり易いところ（例えば、ドキュメントやデスクトップ）を選択します。しばらくするとダウンロードが完了します。完了のダイアログボックスに、「フォルダを開く」ボタンがある場合はボタンをクリックして保存先のフォルダを開いてください。

#### 実行か保存の選択



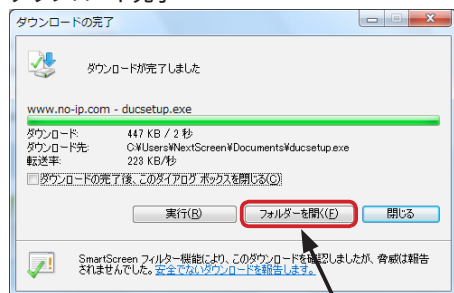
クリック

#### 保存先の選択



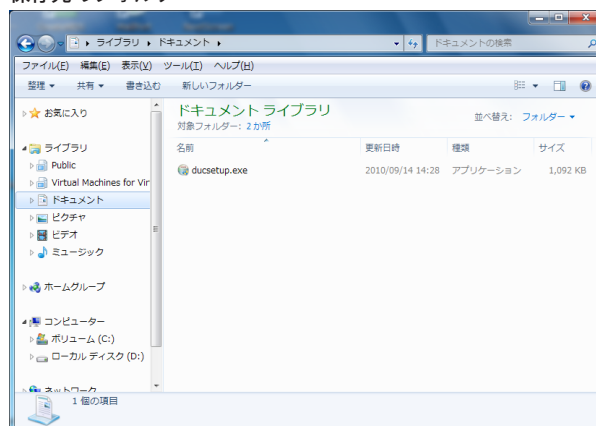
クリック

#### ダウンロード完了



クリック

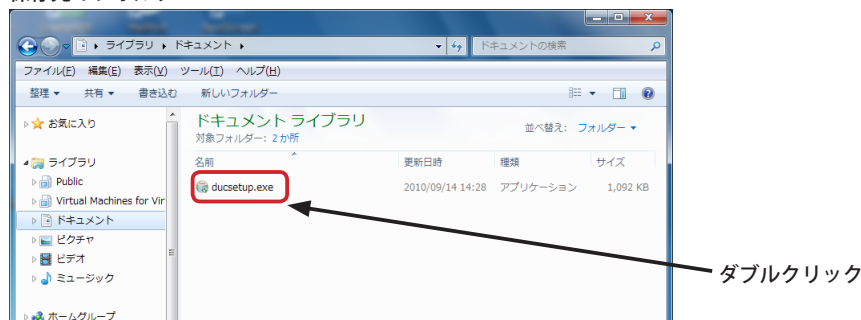
#### 保存先のフォルダ



## 自動更新ソフトウェアのインストール

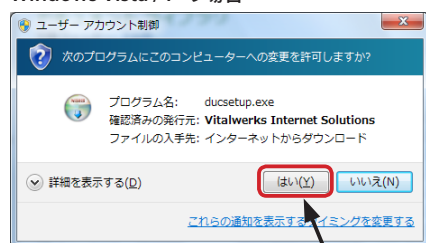
- (1) 自動更新ソフトウェアをインストールします。ダウンロードしたファイルの保存先を開いていない場合は、保存先のフォルダを開きます。保存先のフォルダにあるファイル「ducsetup.exe」をダブルクリックして起動します。

保存先のフォルダ



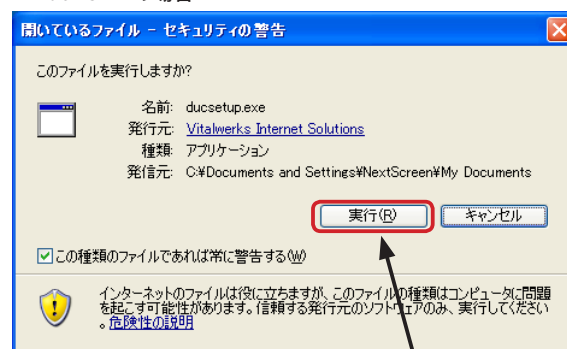
- (2) ユーザーアカウント制御 (Windows XP の場合はセキュリティの警告) の画面が表示されます。「はい」 (Windows XP の場合は「実行」) ボタンをクリックして続行します。

Windows Vista / 7 の場合



クリック

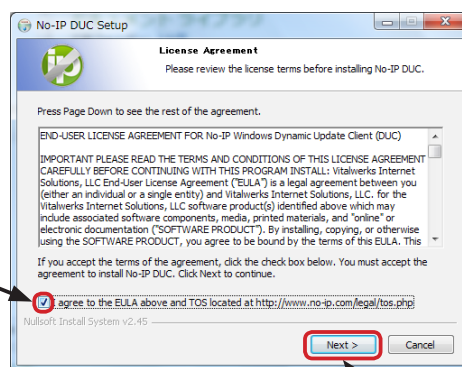
Windows XP の場合



クリック

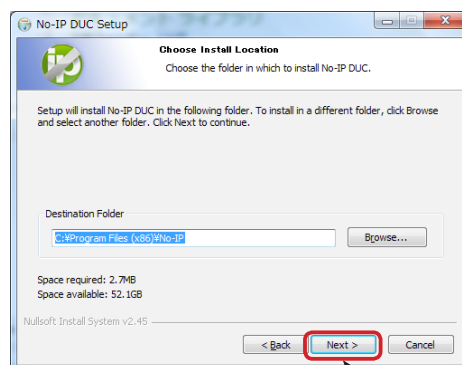
- (3) 「License Agreement」 (ライセンス同意書) が表示されます。画面下のチェックボックス「I agree to the EULA above and TOS located at <http://www.no-ip.com/regal/tos.php>」にチェックを入れ、「Next >」ボタンをクリックします。

チェックを入れる



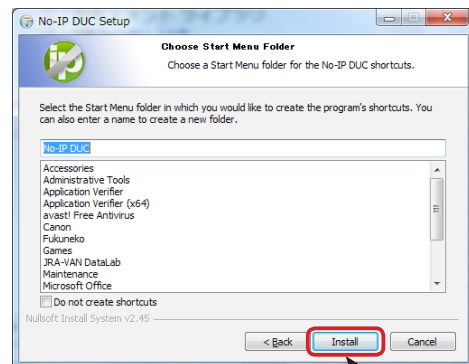
クリック

- (4) 「Choose Install Location」 (インストール先の選択) が表示されます。デフォルトのインストール先を変更する場合は、「Browse...」ボタンをクリックして変更してください。通常は変更せずに「Next >」ボタンをクリックします。

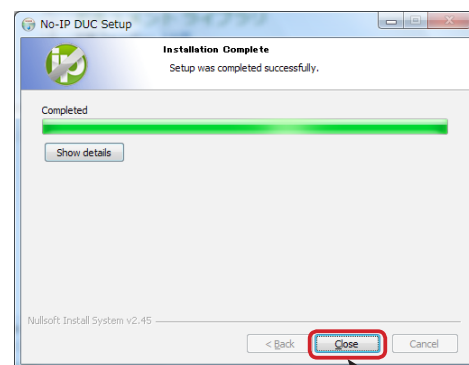


クリック

- (5) 「Choose Start Menu Folder」(スタートメニューフォルダの選択)が表示されます。Windows のスタートボタンで表示されるメニューへの登録グループ名を変更することができます。通常は変更せずに「Install」ボタンをクリックします。

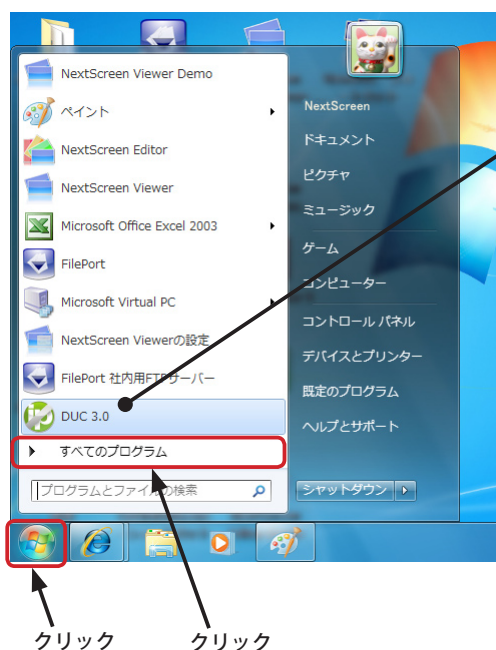


- (6) 「Installation Complete」が表示されればインストールは完了です。「Close」ボタンをクリックして画面を閉じてください。

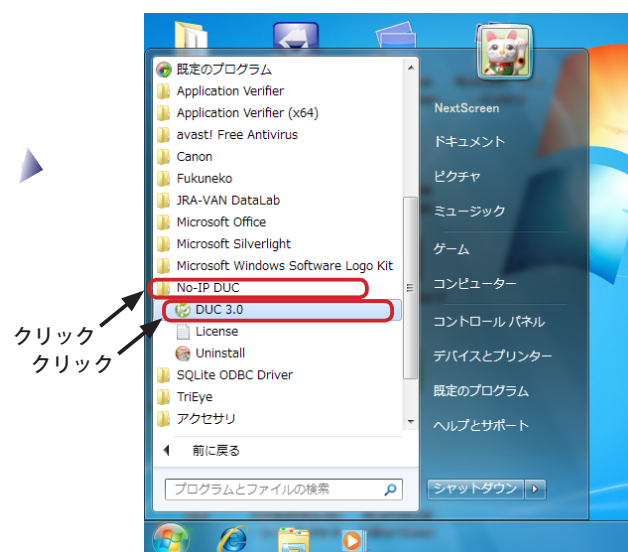


## 自動更新ソフトウェアの設定

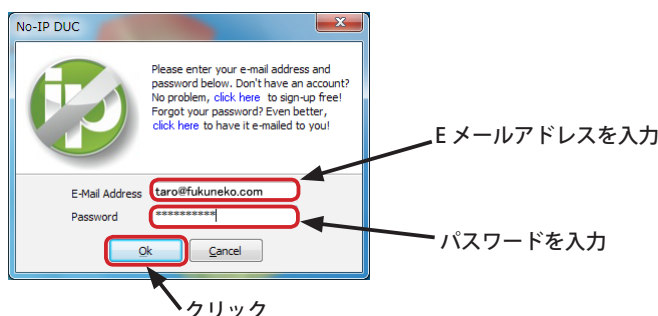
- (1) Windows のスタートボタンをクリックして、「すべてのプログラム」－「No-IP DUC」－「DUC 3.0」を選び、起動します。



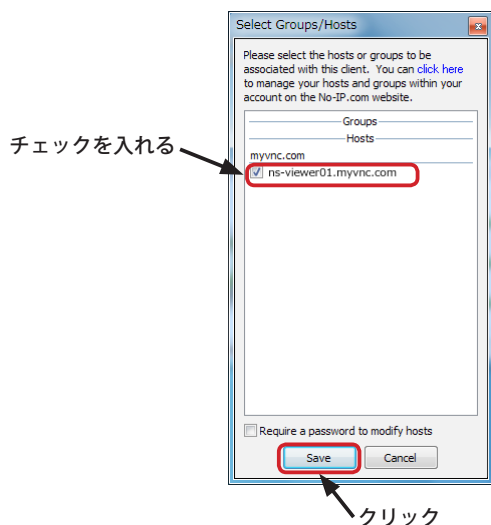
ここに DUC 3.0 が表示されていれば、ここから起動



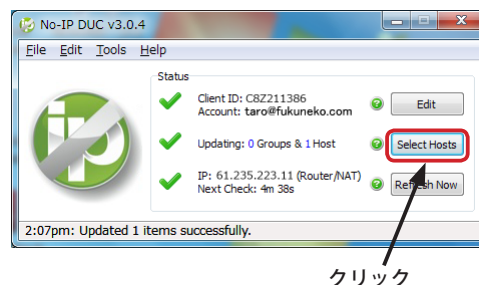
- (2) No-IP DUC を起動すると、登録した E メールアドレスとパスワードを入力する画面が表示されます。「E-Mail Address」の入力欄に E メールアドレスを、「Password」の入力欄にパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。



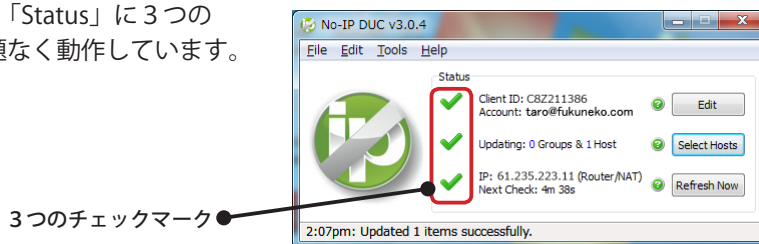
- (3) 「Select Groups/Hosts」(グループ/ホストの選択) 画面が表示されます。登録したホスト名の一覧が表示されます。現在作業をしている PC へ接続するために使用するホスト名のチェックボックスにチェックを入れ、「Save」ボタンをクリックして画面を閉じます。



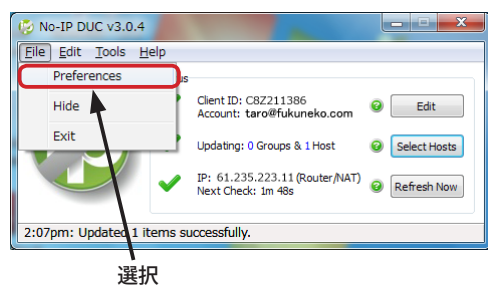
※「Select Groups/Hosts」画面が自動的に表示されない場合は「Select Hosts」ボタンをクリックします。(自動で表示されるのは、最初に起動したときだけです。)



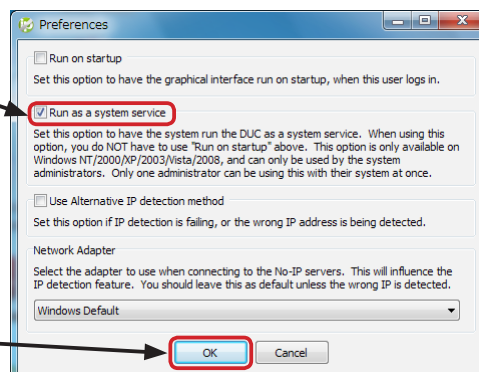
- (4) No-IP DUC のメイン画面が表示され、「Status」に3つのチェックマークが表示されれば、問題なく動作しています。



- (5) 次に、Windows が起動した時に、自動的に No-IP DUC を起動させるための設定を行います。メイン画面のメニューから「File」→「Preferences」を選びます。表示された「Preferences」(設定) 画面で、「Run as a system service」(サービスとして起動) のチェックボックスにチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。これで設定は完了です。メイン画面は閉じてかまいません。



チェックを入れる



## 第 4 章 PPTP クライアントの設定

## PPTP クライアントの設定

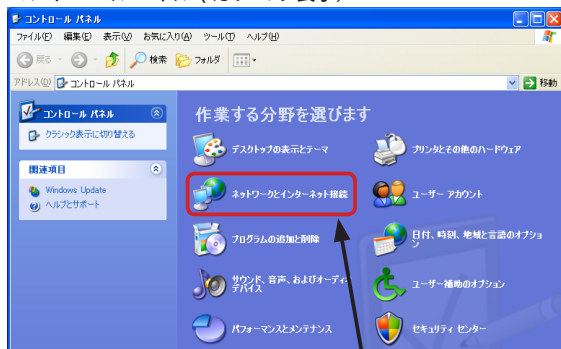
PPTP クライアントは新しいネットワーク接続を作成する手順によって行います。ネットワーク接続を表示するところまでは、PPTP サーバーの設定と同様になります。

※ PPTP クライアントはエディタ PC で行います。この設定を行う前に、ビューワ PC の設定、ルーターの設定、(必要によってはダイナミック DNS の設定) などを済ませておいてください。

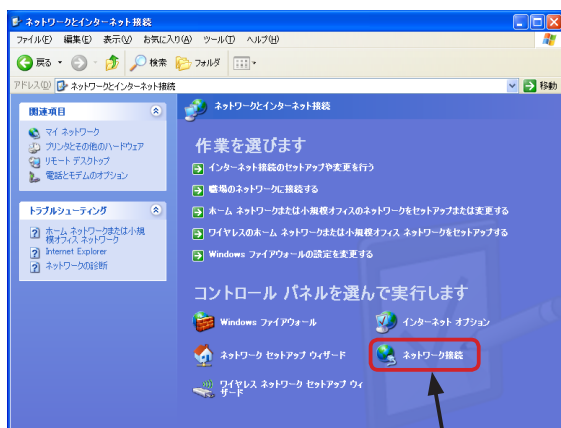
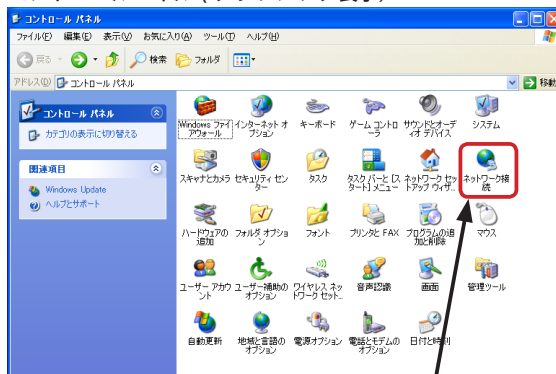
### Windows XP の場合

(1) コントロールパネルを開きます。次に、「ネットワークとインターネット接続」-「ネットワーク接続」を選びます。(クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」を選んでください。)

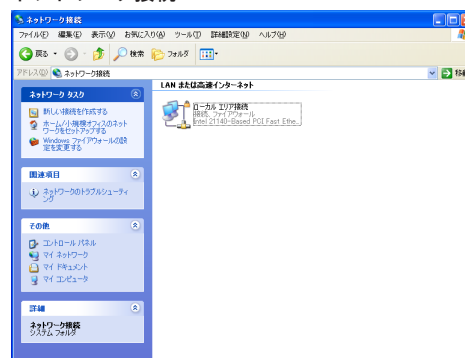
コントロールパネル (カテゴリ表示)



コントロールパネル (クラシック表示)

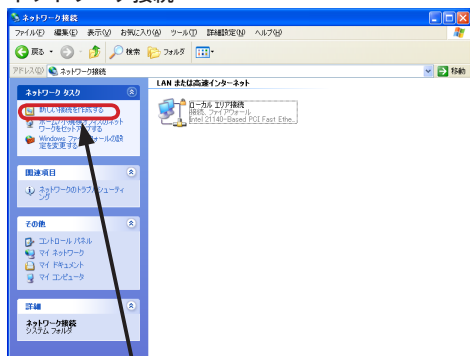


ネットワーク接続

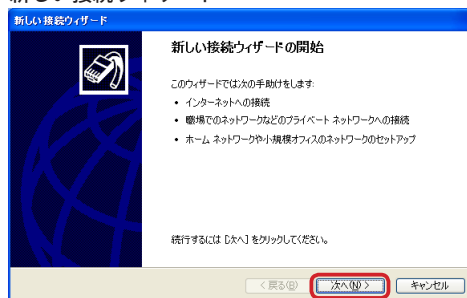


(2) 「ネットワーク接続」画面の左側「ネットワークタスク」から「新しい接続を作成する」を選んでください。「新しい接続ウィザード」画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックしてください。

ネットワーク接続

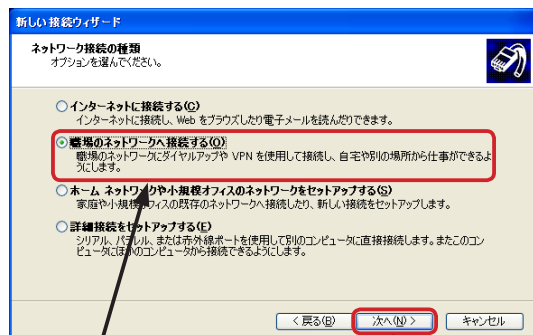


新しい接続ウィザード



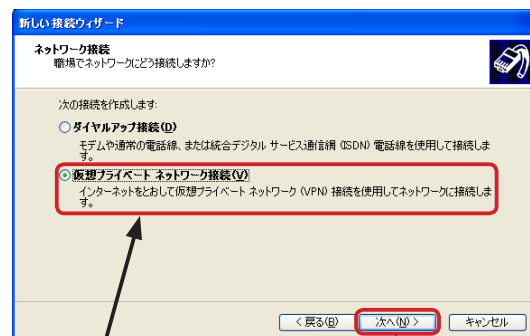


- (3) 「ネットワーク接続の種類」画面で、「職場のネットワークへ接続する」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。次に表示される画面「ネットワーク接続」で「仮想プライベート ネットワーク接続」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。



選択

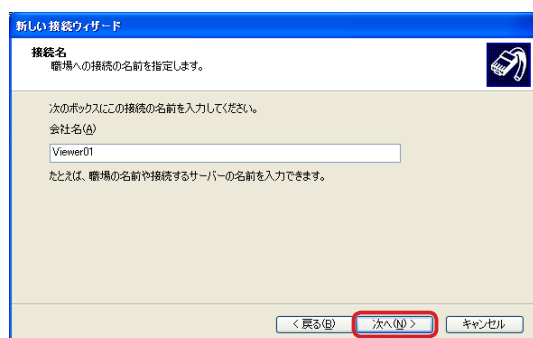
クリック



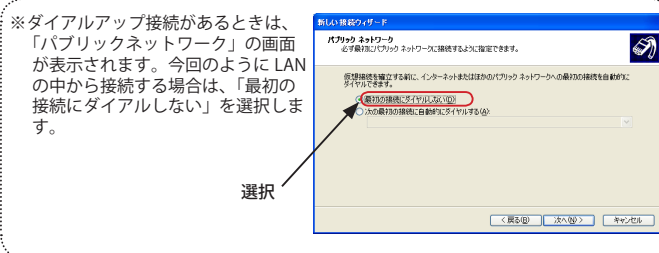
選択

クリック

- (4) 「接続名」画面ではわかりやすい名前を入力し(ここでは、「Viewer01」としています。), 「次へ」ボタンをクリックします。次に表示される画面「VPN サーバーの選択」では、ルーターの (WAN 側) IP アドレスまたは、ダイナミック DNS で登録したホスト名を入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。



クリック



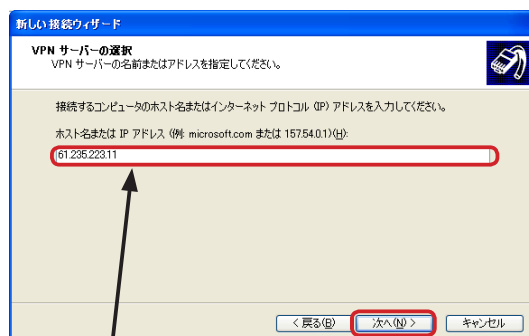
選択

※今回の例では、IP アドレスはビューワ PC が接続されているルーターの WAN 側 IP アドレスまたはダイナミック DNS に登録した (ドメイン名を含んだ) ホスト名です。

<今回の例>

- IP アドレス: 61.235.223.11
- ホスト名: ns-viewer01.myvnc.com

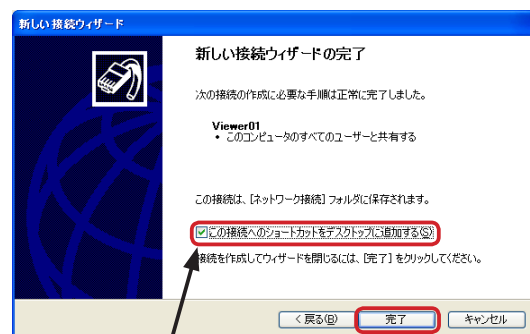
(もし、ルーターを使用しないで PPTP サーバーとなる PC を直接インターネットに接続しているのであれば、その PC の IP アドレスを入力します。)



入力

クリック

- (5) 「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。後で利用しやすいように、「この接続へのショートカットをデスクトップに作成する」チェックボックスにチェックを入れ、「完了」ボタンをクリックします。

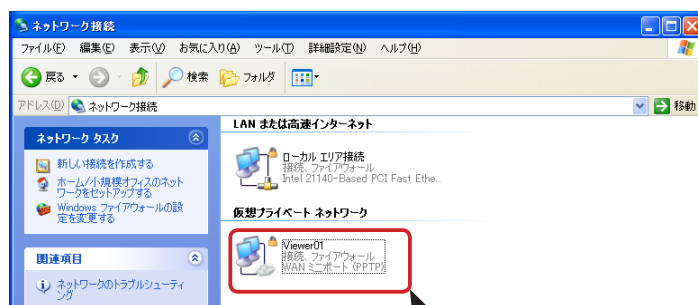


チェックを入れる

クリック

- (6) 新しい接続ウィザードが完了すると、「ネットワーク接続」画面に「仮想プライベート ネットワーク」のカテゴリと新しい接続（今回の例では「Viewer01」）が追加されています。

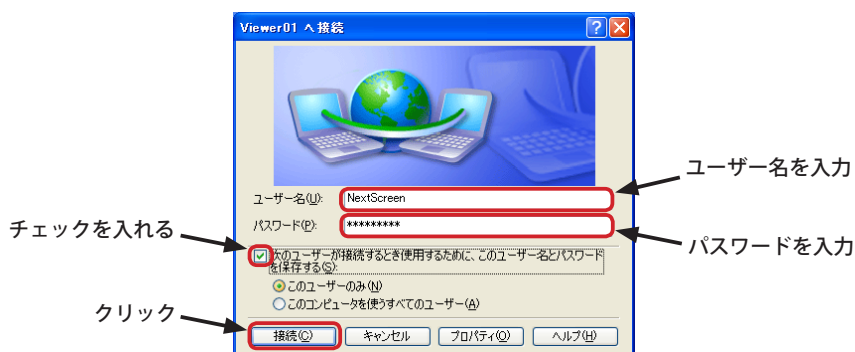
PPTP サーバーへ接続するために、新しい接続（この例では「Viewer01」）をダブルクリックします。



ダブルクリック

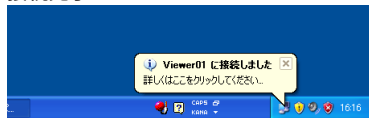
- (7) 「○○○への接続」（今回の例では「Viewer01 への接続」）画面が表示されます。ユーザー名の入力欄に接続用のユーザー名を、パスワードの入力欄に接続用のパスワードを入力します。接続用のユーザー名とパスワードは、PPTP サーバー（ビューワ PC）で設定したものととなります。（ルーターを PPTP サーバーにしている場合は、そのルーターで設定したものです。）

「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」にチェックを入れ、「接続」ボタンをクリックします。

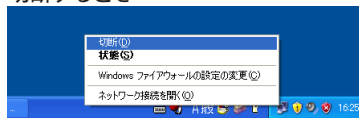


- (8) 接続が完了すると、タスクトレイ（タスクバーの右側）に「○○○に接続しました。」のメッセージが表示されます。切断するときは、タスクトレイのアイコンを右クリックして、メニューから「切断」を選択します。

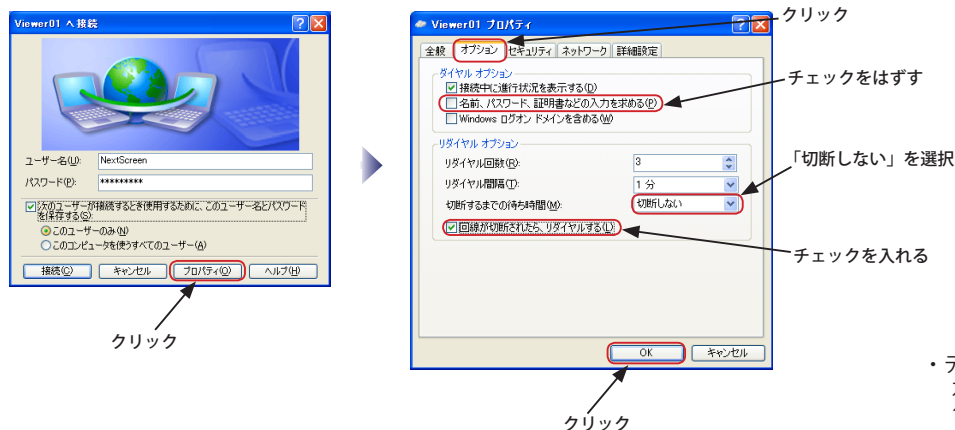
接続完了



切断するとき



- ・PPTP クライアントの接続を作成した場合、必要に応じて手動で接続します。常に接続しておきたい場合は、Windows へのログオン時に自動接続するようにすると良いでしょう。



- ・デスクトップに作成済のショートカットを「スタートアップフォルダ」へコピーすれば完了です。



## Windows Vista / 7 の場合

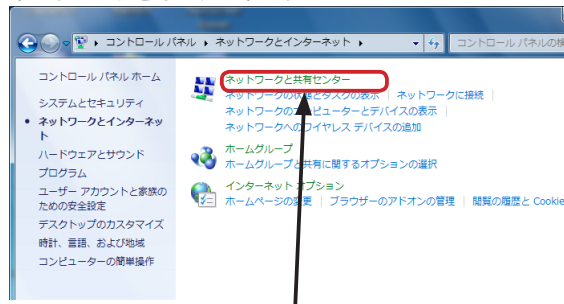
PPTP クライアントの設定方法を説明します。Windows 7 の画面を中心に説明しますが、Windows Vista においてもほぼ同様に行うことができます。

- (1) コントロールパネルから「ネットワークとインターネット」を選びます。次に表示される画面で、「ネットワークと共有センター」を選びます。

### コントロールパネル

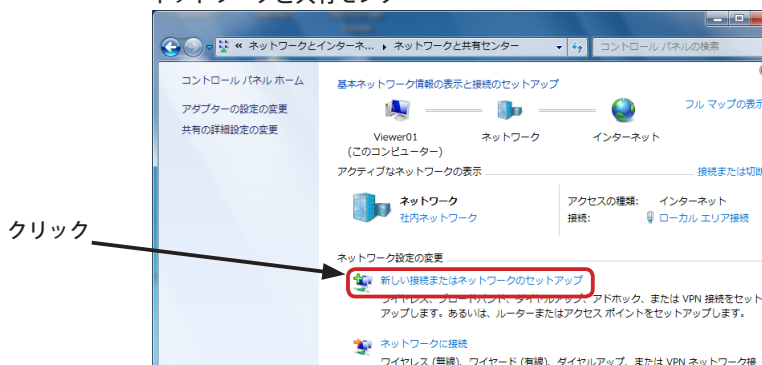


### ネットワークとインターネット



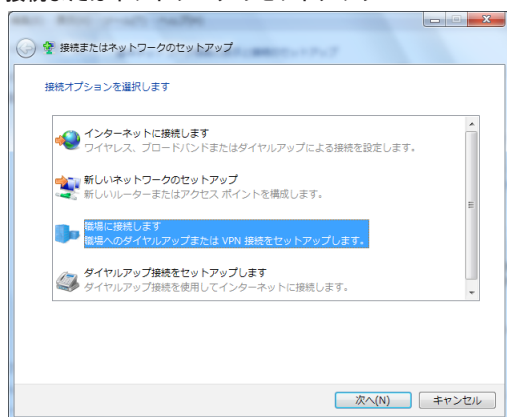
- (2) 「ネットワークと共有センター」画面で、「新しい接続またはネットワークのセットアップ」を選びます。(ネットワーク接続画面が表示されます。)

### ネットワークと共有センター



- (3) 「接続またはネットワークのセットアップ」の画面が表示されたら、「職場に接続します」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

### 接続またはネットワークのセットアップ



- (4) 「接続に使用するインターネットアドレスを入力してください」と表記された画面が表示されます。「インターネットアドレス」の入力欄には、ルーターの（WAN 側）IP アドレスまたは、ダイナミック DNS で登録したホスト名を入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。「接続先の名前」の入力欄にはわかりやすい名前を入力し（ここでは、「Viewer01」としています。）、「次へ」ボタンをクリックします。

IP アドレスまたはホスト名を入力

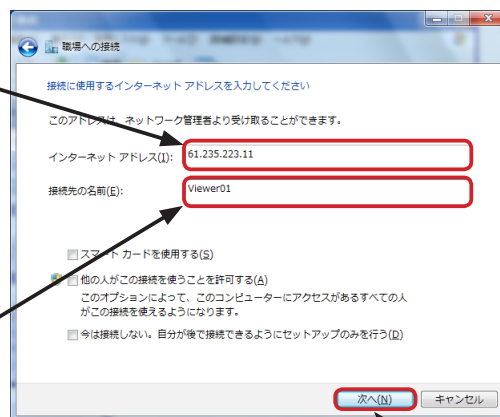
※今回の例では、IP アドレスはビューワ PC が接続されているルーターの WAN 側 IP アドレスまたはダイナミック DNS に登録した（ドメイン名を含んだ）ホスト名です。

＜今回の例＞

- ・ IP アドレス： 61.235.223.11
- ・ ホスト名： ns-viewer01.myvnc.com

（もし、ルーターを使用しないで PPTP サーバーとなる PC を直接インターネットに接続しているのであれば、その PC の IP アドレスを入力します。）

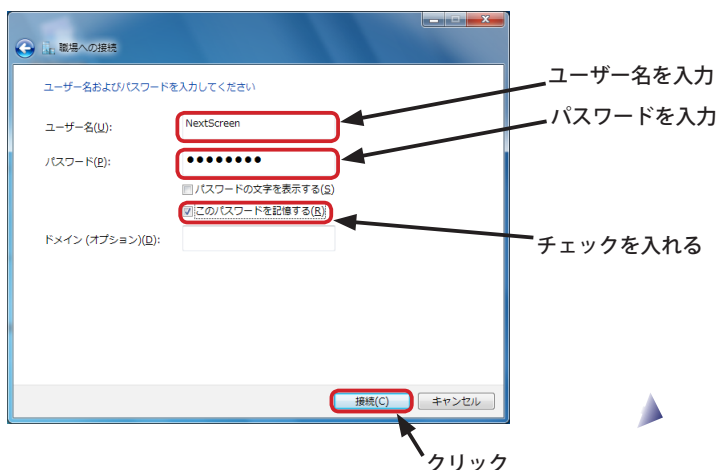
任意の名前を入力



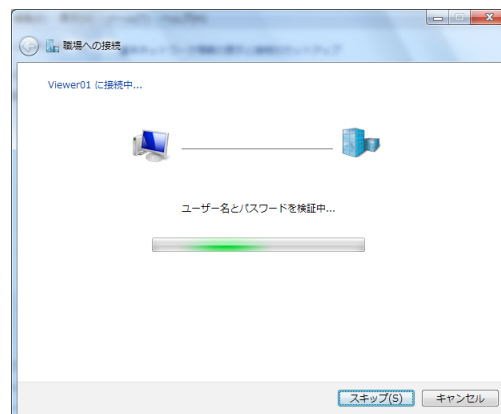
クリック

- (5) 「ユーザー名およびパスワードを入力してください」と表記された画面が表示されます。ユーザー名の入力欄に接続用のユーザー名を、パスワードの入力欄に接続用のパスワードを入力します。接続用のユーザー名とパスワードは、PPTP サーバー（ビューワ PC）で設定したものととなります。（ルーターを PPTP サーバーにしている場合は、そのルーターで設定したものです。）

「このパスワードを記憶する」にチェックを入れ、「接続」ボタンをクリックします。

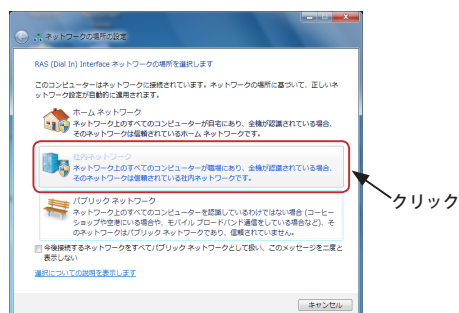


クリック

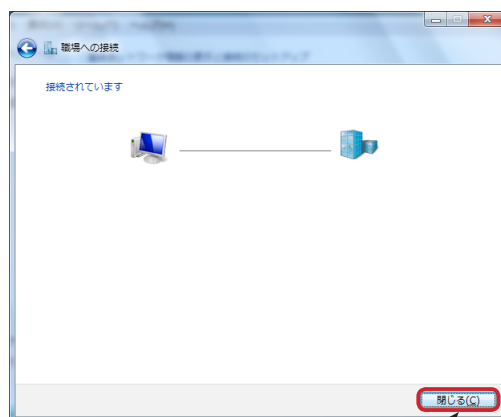


- (6) 「○○○に接続中 ...」と表記された画面が表示され、しばらくすると「接続されています」の表記に変わります。これで接続ができたので、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

※接続が完了すると、PPTP サーバーや PPTP クライアントの PC で「ネットワーク場所の設定」画面が表示されることがあります。そのときは、「社内ネットワーク」をクリックします。



クリック



クリック

- (7) 接続が完了すると、「ネットワークと共有センター」の「アクティブなネットワークの表示」に接続が追加されます。(この例では Viewer01) この接続の「パブリックネットワーク」をクリックしてください。



- (8) 「ネットワークの場所の設定」画面が表示されるので、「社内ネットワーク」をクリックします。次に表示される確認の画面は「閉じる」ボタンをクリックして閉じます。

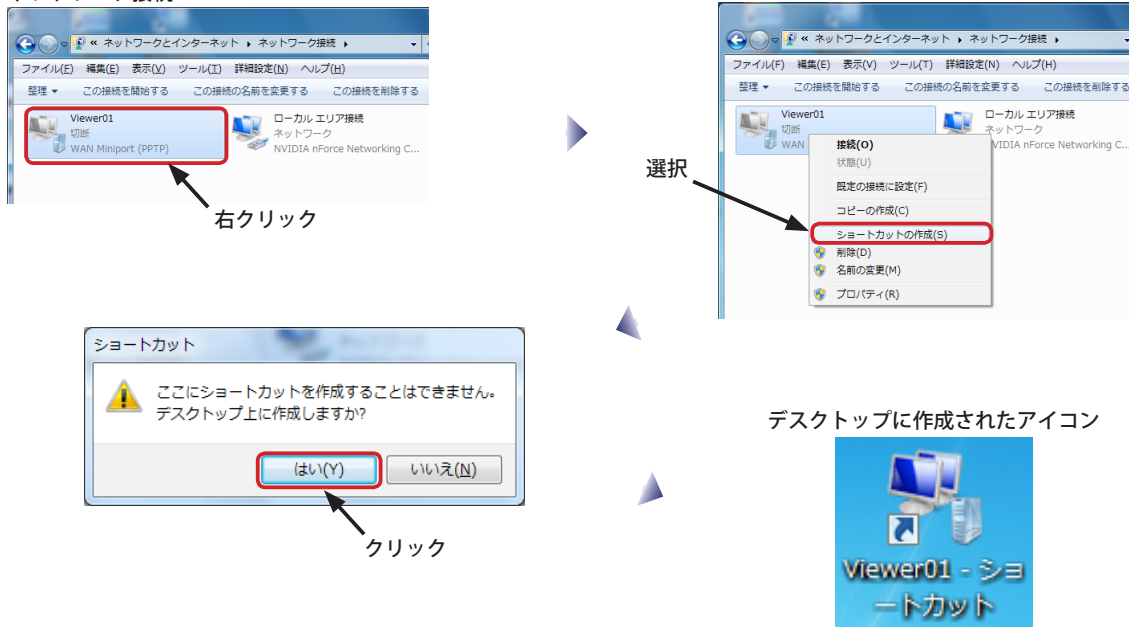


- (9) 「ネットワークと共有センター」の「アクティブなネットワークの表示」が「社内ネットワーク」に変わります。次に接続のショートカットを作成するため、画面左側の「アダプターの設定の変更」をクリックします。

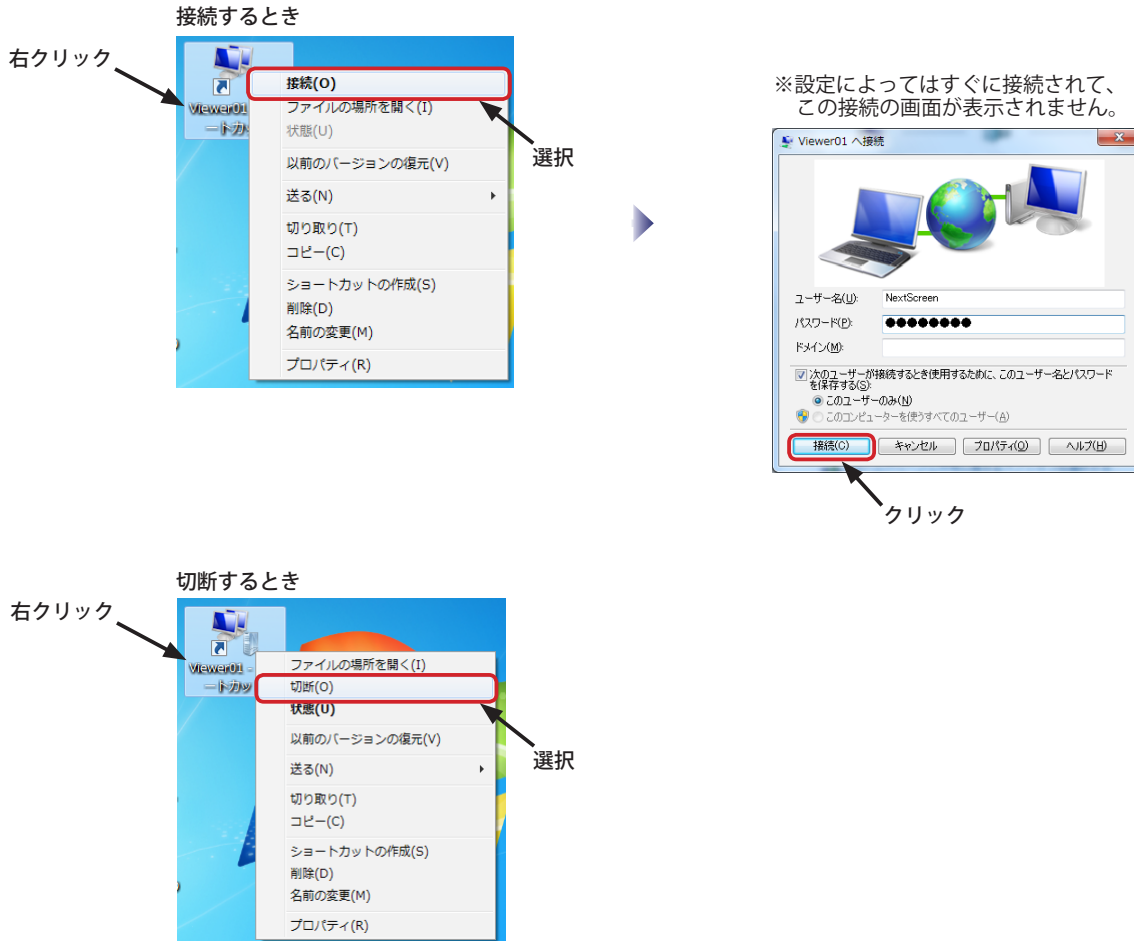


- (10) 「ネットワーク接続」の画面が表示されます。作成した接続（この例では Viewer01）を右クリックして表示されるコンテキストメニューから「ショートカットの作成」を選択します。デスクトップにショートカットを作成するかどうかのダイアログボックスが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。これでデスクトップにショートカットが作成されました。

## ネットワーク接続

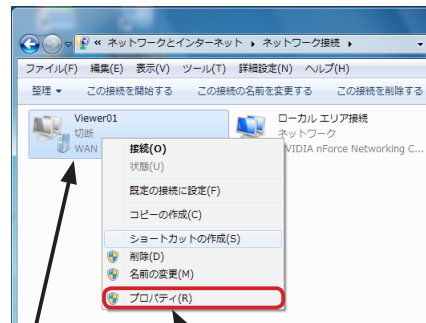


- (11) 作成したショートカットを右クリックして表示されるコンテキストメニューから「接続」、「切断」を行うことができます。（「ネットワーク接続」や「ネットワークと共有センター」からも「接続」、「切断」を行えます。）



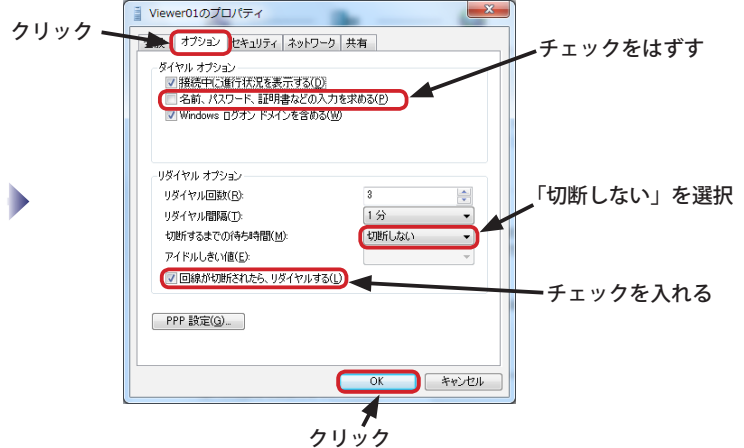
- PPTP クライアントの接続を作成した場合、必要に応じて手動で接続します。常に接続しておきたい場合は、Windows へのログオン時に自動接続するようにすると良いでしょう。

## ネットワーク接続



右クリック

選択



クリック

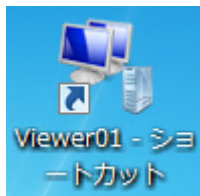
チェックをはずす

「切断しない」を選択

チェックを入れる

クリック

## デスクトップに作成されたアイコン



- デスクトップに作成済のショートカットを「スタートアップフォルダ」へコピーすれば完了です。



## 第 5 章 NextScreen エディタの設定



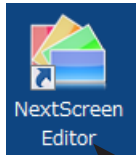
## NextScreen エディタの設定

PPTP サーバーおよびクライアントの設定が完了すると、VPN 接続が可能になります。この VPN 接続において、エディタの設定で注意しなければならない点がありますので、説明します。(エディタ設定の詳細については、「NextScreen 取り扱い説明書 (User's Manual)」を参照してください。)

※ PPTP サーバーとクライアントの設定が完了して、VPN 接続ができていることを確認しておいてください。NextScreen のビューワとエディタは、VPN 環境の前に LAN 環境で問題なくアップロードができていることを確認しておいてください。(最初から VPN 環境で設定を行うと問題が発生したときに問題点の把握が困難になります。)

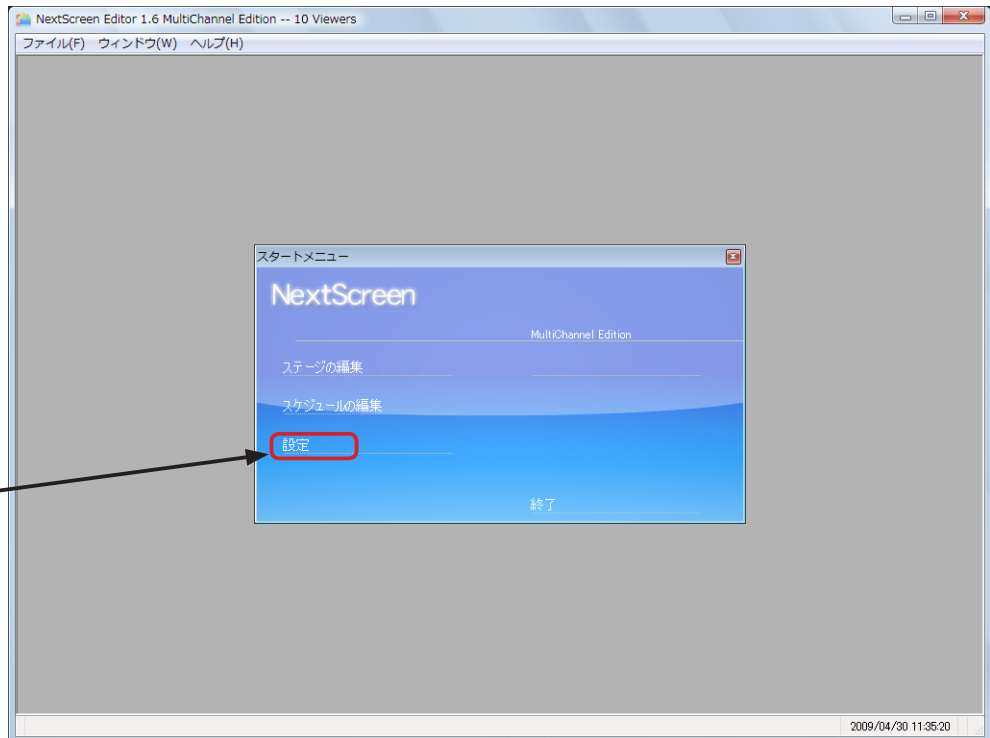
(1) NextScreen エディタを起動し、最初に表示される「スタートメニュー」から「設定」をクリックします。

エディタのアイコン



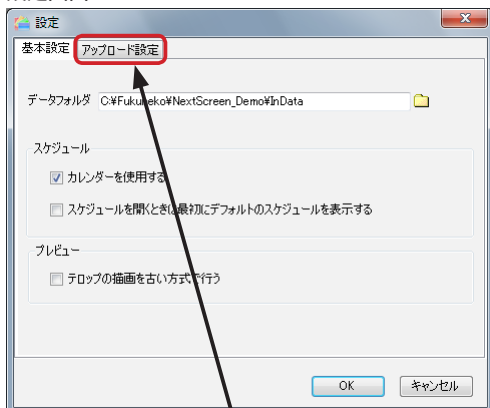
ダブルクリック

エディタの画面



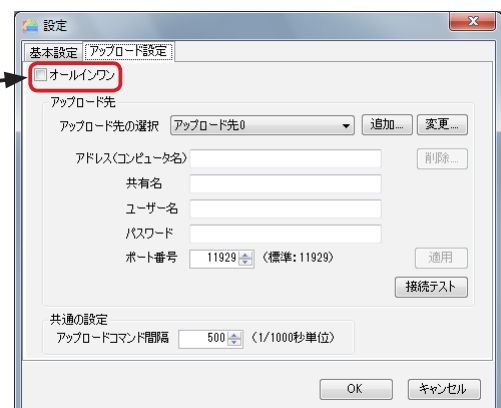
(2) 設定画面が表示されたら、「アップロード設定」タブをクリックしてください。「アップロード設定」の上部の「オールインワン」チェックボックスにチェックが入っていたら、チェックをはずしてください。(チェックをはずさないと設定できません。)

設定画面



クリック

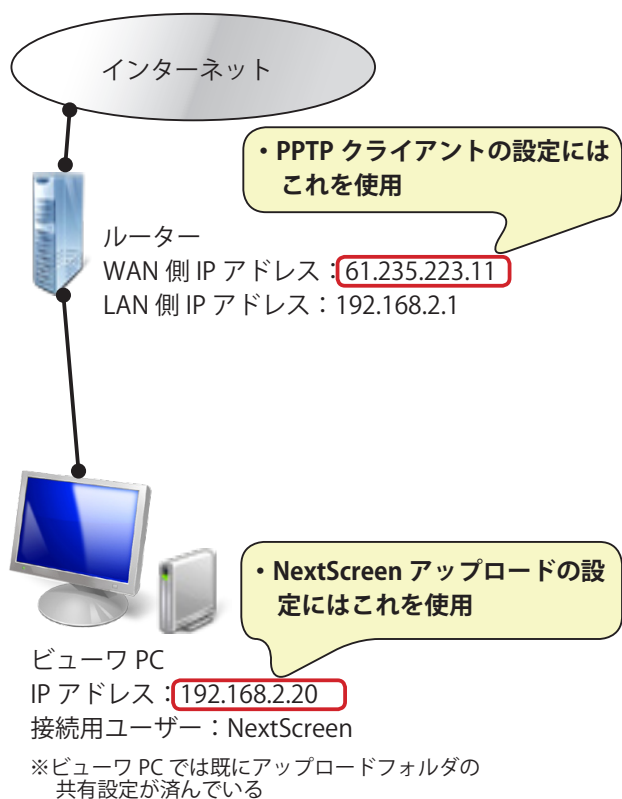
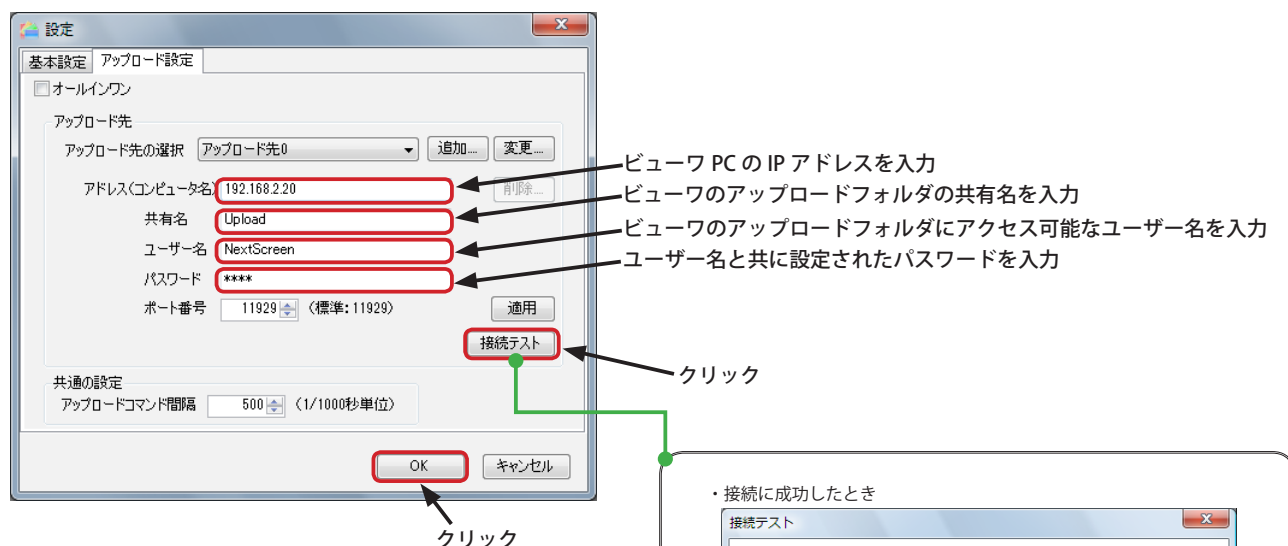
チェックをはずす



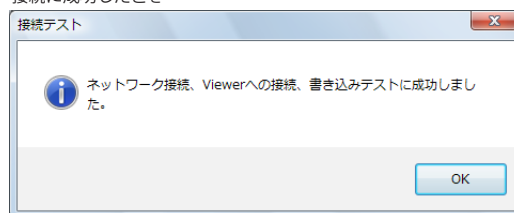
(3)「アドレス (コンピュータ名)」の入力欄には、ビューワ PC の IP アドレスを入力します。(今回の例では「192.168.2.20」になります。)注意しなければならないのは、この IP アドレスは**ルーターの IP アドレスではない**ということです。(PPTP クライアントの設定では、ルーターの IP アドレスを使用しました。)

「共有名」はビューワ PC で設定しているアップロードフォルダの共有名を入力します。「ユーザー名」は、この共有名で指定されたフォルダへアクセスするためのユーザー名を入力します。「パスワード」はユーザー名と共に設定されているパスワードを入力します。

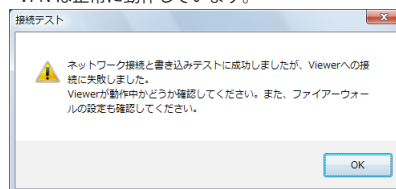
入力が終了したら、VPN が接続されていることを確認してから、「接続テスト」ボタンをクリックしてください。「接続成功」のダイアログボックスが表示されれば問題ありません。「OK」ボタンをクリックして、設定画面を閉じてください。(続けて他のアップロード設定を行う場合は、必ず「適用」ボタンをクリックしてから、「アップロード先の選択」で切り替えてください。)



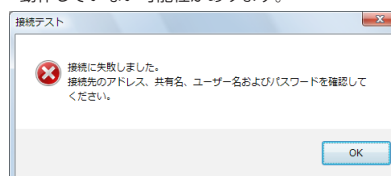
#### ・ 接続に成功したとき



#### ・ 接続に失敗したとき VPN は正常に動作しています。



#### ・ 接続に失敗したとき ユーザー名やパスワードが間違っているか、VPN が動作していない可能性があります。





[www.fukuneko.com](http://www.fukuneko.com)

NextScreen over VPN

**VPN Configuration Manual**  
VPN 設定の説明書

---

発行元： 福猫株式会社